

ZTE a1

ZTG01

User Guide 取扱説明書 詳細版

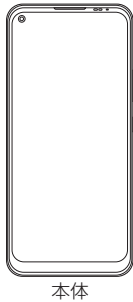


ごあいさつ

このたびは、「ZTE a1 ZTG01」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に「クイックスタートガイド」「ご利用にあたっての注意事項」または「取扱説明書 詳細版」(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



- SIM取り出し用ピン(試供品)
- クリアケース(試供品)
- クイックスタートガイド
- ご利用にあたっての注意事項

次のものは同梱されていません。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| • ACアダプタ | • microSDメモ리카ード |
| • USB Type-C™ケーブル | • イヤホン |

memo

- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■ 「クイックスタートガイド」「ご利用にあたっての注意事項」

初めてお使いになる前に必要な情報や注意事項を説明しています。

■ 「オンラインマニュアル」

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「オンラインマニュアル」は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面で画面を上にスワイプ→[取扱説明書]



また、「オンラインマニュアル」はauホームページからもご確認できます。
<https://www.au.com/online-manual/ztg01/>

■ 「取扱説明書 詳細版」(本書)

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した「取扱説明書 詳細版」は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の「取扱説明書」が必要な方へ

You can download the English version of the "Quick Start Guide", "Notes on Usage" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書(クイックスタートガイド)(英語版)』『ご利用にあたっての注意事項(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

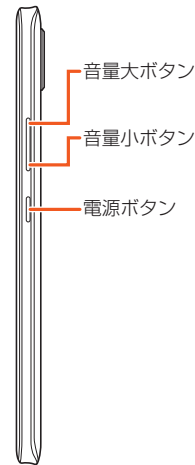
Download URL:

<https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目/アイコン/ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で画面を上にスワイプ→[設定]	ホーム画面で画面を上にスワイプします。続けて「設定」をタップします。
スリープモード中に電源ボタン	スリープモード中に電源ボタンを押します。

- スワイプとは、ディスプレイを指ですばやく上下左右にはらう操作です(▶P.18)。
- タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.18)。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card O4を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

- ◎ 本書では、「クイックスタートガイド」「ご利用にあたっての注意事項」「取扱説明書 詳細版」(本書)を総称して「取扱説明書」と表記します。
- ◎ 本書では縦表示での操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書では「au Nano IC Card O4」の名称を「au ICカード(SIMカード)」と表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモ리카ード(市販品)」および「microSDHC™メモ리카ード(市販品)」、「microSDXC™メモ리카ード(市販品)」の名称を「microSDメモ리카ード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書の表記の金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
- ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

目次

ごあいさつ.....	1
同梱品一覧.....	1
取扱説明書について.....	1
本書の表記方法について.....	1
目次.....	2
注意事項.....	5
注意事項.....	6
本製品のご利用について.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	6
材質一覧.....	9
取り扱い上のご注意.....	9
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	10
2.4GHz帯ご使用上の注意.....	10
5GHz帯ご使用上の注意.....	10
各種暗証番号/PINコードについて.....	11
各種暗証番号について.....	11
PINコードについて.....	11
データ通信料についてのご注意.....	11
アプリケーションについて.....	11
アプリの権限を設定する.....	11
アプリの権限を設定する.....	11
マナーも携帯する.....	11
ご利用の準備.....	13
ご利用の準備.....	14
各部の名称と機能.....	14
au ICカード(SIMカード)について.....	14
au ICカード(SIMカード)を取り付ける/取り外す.....	14
au ICカード(SIMカード)を取り付ける.....	14
au ICカード(SIMカード)を取り外す.....	15
充電する.....	15
指定のACアダプタを使って充電する.....	15
パソコンを使って充電する.....	15
電源を入れる/切る.....	16
電源を入れる.....	16
電源を切る.....	16
再起動する.....	16
強制的に電源を切り再起動する.....	16
セーフモードで起動する.....	16
画面をロックする/画面ロックを解除する.....	16
画面をロックする.....	16
画面ロックを解除する.....	16
初期設定を行う.....	16
Googleアカウントをセットアップする.....	16
au IDを設定する.....	16
基本操作.....	17
基本操作.....	18
タッチパネルの使いかた.....	18
ナビゲーションバーの使いかた.....	18
マルチウィンドウを利用する.....	18
指紋認証機能を利用する.....	18
指紋認証機能について.....	18
指紋を登録する.....	19
指紋認証を行う.....	19
指紋センサーをスワイプして機能を利用する.....	19
縦/横画面表示を切り替える.....	19
ホーム画面を利用する.....	19
ホーム画面をカスタマイズする.....	19
アプリケーションを起動する.....	20
本製品の状態を知る.....	20
アイコンの見かた.....	20
通知パネル/クイック設定パネルについて.....	20
通知LEDについて.....	20
最近使用したアプリを起動する.....	21
マナーモードを設定する.....	21
メニューを表示する.....	21
スクリーンショットを撮影する.....	21
文字入力.....	21
文字を入力する.....	21
キーボードレイアウトを切り替える.....	21
Gboardを利用する.....	21
文字を切り取り/コピーしてから貼り付ける.....	22
Gboardを設定する.....	22
単語リストに登録する.....	22
電話・連絡先.....	23
電話.....	24
電話をかける.....	24

通話に関する設定をする.....	24
通話履歴を利用して電話をかける.....	25
au電話から海外へかける(au国際電話サービス).....	25
電話を受ける.....	25
着信に伝言メモで応答する.....	25
着信を拒否する.....	25
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する.....	25
着信拒否を設定する.....	25
伝言メモを利用する.....	25
自分の電話番号を確認する.....	25
連絡帳.....	26
連絡帳について.....	26
連絡先を登録する.....	26
連絡先から電話をかける.....	26
連絡先を編集/削除する.....	26
連絡先を編集する.....	26
連絡先を削除する.....	26
連絡先をお気に入りに登録する.....	26
連絡先をインポート/エクスポートする.....	26
インポートする.....	26
エクスポートする.....	26
メール.....	27
auメール.....	28
auメールのご利用にあたって.....	28
auメールの初期設定について.....	28
auメールを利用する.....	28
auメールの利用方法を確認する.....	28
迷惑メールフィルターを設定する.....	28
+メッセージ(SMS).....	29
+メッセージについて.....	29
+メッセージのご利用にあたって.....	29
+メッセージのモードについて.....	29
+メッセージの利用方法を確認する.....	29
連絡先を登録する.....	29
QRコードによる連絡先登録.....	29
新しい連絡先を登録.....	29
公式アカウントを登録する.....	29
メッセージを送信する.....	29
グループを作る/グループに送信する.....	29
+メッセージを設定する.....	29
ブロックリストを設定する.....	30
公式アカウントとのやりとりをブロックする.....	30
Gmail.....	30
Gmailを起動する.....	30
Gmailを送信する.....	30
Gmailを受信する.....	30
インターネット.....	31
インターネット接続.....	32
インターネットに接続する.....	32
データ通信を利用する.....	32
ブラウザ(Chrome).....	32
Webページを表示する.....	32
ブックマーク/履歴を利用する.....	32
ブックマークに登録する.....	32
ブックマークからWebページを表示する.....	32
履歴を確認する.....	32
履歴を削除する.....	32
アプリケーション.....	33
アプリケーション一覧.....	34
アプリケーション一覧.....	34
カメラ.....	35
カメラをご利用になる前に.....	35
写真を撮影/動画を録画する.....	35
写真を撮影する.....	35
動画を録画する.....	35
撮影画面の見かた.....	35
カメラのモードを切り替える.....	35
写真/動画を見る.....	35
音楽.....	36
音楽を再生する(YT Music).....	36
My au.....	36
My auを利用する.....	36
あんしんフィルター for au.....	36
あんしんフィルター for auを利用する.....	36
Androidアプリ.....	37
Google Playを利用する.....	37
アプリを検索し、インストールする.....	37
アプリケーションを管理する.....	37
提供元不明のアプリケーションのダウンロード.....	37
カレンダー.....	37
カレンダーを利用する.....	37
カレンダーのメニューを利用する.....	37

予定を新規登録する	37
カレンダーを設定する	37
時計	38
アラームを利用する	38
アラームを止める	38
アラームを削除する	38
世界時計を利用する	38
時計の設定をする	38
ストップウォッチを利用する	38
タイマーを利用する	38
電卓	39
電卓を利用する	39
ライト	39
ライトを利用する	39
ファイル管理	41
ファイル管理	42
本製品の保存領域について	42
microSDメモ리카ードを利用する	42
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す	42
microSDメモ리카ードを取り付ける	42
microSDメモ리카ードを取り外す	43
USB Type-C™ケーブル(市販品)でパソコンと接続する	43
メモリの使用量を確認する	43
microSDメモ리카ードをフォーマットする	43
Files	43
Filesを利用する	43
本体内のファイルをmicroSDメモ리카ードにコピー／移動する	43
microSDメモ리카ード内のファイルを本体にコピー／移動する	43
データ通信	45
Bluetooth®機能	46
Bluetooth®機能について	46
Bluetooth®機能をオンにする	46
Bluetooth®機器を登録する	46
Bluetooth®機器の接続を解除する	46
Bluetooth®機能でデータを送受信する	46
Bluetooth®機能でデータを送信する	46
Bluetooth®機能でデータを受信する	46
無線LAN(Wi-Fi®)機能	46
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	46
Wi-Fi®機能をオンにする	46
Wi-Fi®機能をオフにする	46
Wi-Fi®ネットワークに接続する	47
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する	47
Wi-Fi®ネットワークの設定を削除する	47
Wi-Fi®機能の詳細設定をする	47
Wi-Fi Direct®を利用する	47
テザリング機能	47
テザリングについて	47
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	47
USBテザリング機能を利用する	47
Bluetooth®テザリング機能を利用する	47
機能設定	49
機能設定	50
設定メニューを表示する	50
ネットワークとインターネットの設定をする	50
データ使用を制限する	50
モバイルネットワークを設定する	50
VPNを設定する	51
機内モードを設定する	51
接続済みのデバイスの設定をする	51
通知とステータスバーの設定をする	51
ロック画面表示に関する設定をする	51
アプリの設定をする	51
電池の設定をする	51
ホーム画面とロック画面の設定をする	51
ディスプレイの設定をする	52
音の設定をする	52
便利な機能と操作の設定をする	52
ストレージの設定をする	52
プライバシーの設定をする	52
位置情報の設定をする	52
セキュリティの設定をする	53
SIMカードロックを設定する	53
アカウントの設定をする	53
アカウントを追加／削除する	53
自動で同期する	53
ユーザー補助の設定をする	53
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする	53
システムの設定をする	54
言語と入力に関する設定をする	54
日付と時刻の設定をする	54
本製品をリセットする	54

デバイス情報の設定をする	54
auネットワーク	55
auのネットワークサービス	56
auのネットワークサービスについて	56
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	56
着信お知らせサービスについて	56
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	56
応答できない電話を転送する(無応答転送)	56
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	56
応答できない電話を転送する(圏外転送)	56
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	56
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	57
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	57
電話番号を通知する	57
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	57
番号通知リクエストサービスを開始する	57
番号通知リクエストサービスを停止する	57
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	57
お留守番サービスEXについて	57
お留守番サービス総合案内(141)を利用する	58
応答できない電話を転送する(無応答転送)	58
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)	58
応答できない電話を転送する(圏外転送)	58
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	58
電話をかけてきた方が伝言を録音する	58
ボイスメールを録音する	58
伝言お知らせについて	59
伝言・ボイスメールを聞く	59
応答メッセージの録音／確認／変更をする	59
伝言の蓄積を停止する(不在通知)	59
伝言の蓄積停止を解除する	59
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	59
英語ガイドダンスへ切り替える	60
日本語ガイドダンスへ切り替える	60
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	60
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	60
割込通話サービスを開始する	60
割込通話サービスを停止する	60
割込通話を受ける	60
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	61
撃退する電話番号を登録する	61
登録した電話番号を全件削除する	61
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	61
海外利用	63
海外利用	64
au世界サービスについて	64
海外利用に関する設定を行う	64
データ通信を利用する	64
海外でVoLTEを利用する	64
渡航先で電話をかける	64
渡航先で電話を受ける	64
お問い合わせ方法	64
海外からのお問い合わせ	64
海外でのご利用上のご注意	65
本製品を盗難・紛失したら	65
auネットワークサービスに関するご注意	65
付録	67
付録	68
ソフトウェアを更新する	68
ご利用上の注意	68
ソフトウェアをダウンロードして更新する	68
故障とお考えになる前に	68
アフターサービスについて	69
修理を依頼されるときは	69
補修用性能部品について	69
無償修理規定	69
故障紛失サポートについて	69
au ICカード(SIMカード)について	69
auスマートサポート	69
auスマートサポートでできること	69
位置検索サポート	69
位置検索をご利用いただくにあたって	69
SIMロック解除	70
周辺機器	70
主な仕様	70
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	71
米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報	71
Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)	71
FCC RF Exposure Information	71
欧州における電波ばく露の影響に関する情報	72
適合宣言書	73
輸出管理規制	75
知的財産権について	75

商標について.....	75
OpenSSL License.....	75
索引.....	76

注意事項

注意事項.....	6
本製品のご利用について.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	6
材質一覧.....	9
取り扱い上のご注意.....	9
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	10
各種暗証番号/PINコードについて.....	11
データ通信料についてのご注意.....	11
アプリケーションについて.....	11
アプリの権限を設定する.....	11
マナーも携帯する.....	11

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、次のauホームページから「トラブル診断」をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>



- サービスエリア内でも電波が届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。(ただし、5G/LTE/WiMAX 2+/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話・秘鑑機能を備えています。)
 - 日本国内の緊急通報受付機能に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用した接続はできません。
 - 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、「取扱説明書」で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
 - 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
 - 「携帯電話の保守」と「稼働状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
 - 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
 - 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
 - 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - 撮影などした画像/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
 - 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。
- ※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
 発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
 製造元: ZTEコーポレーション

memo

- ◎ 「取扱説明書」の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 「取扱説明書」の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 「取扱説明書」の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{*2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{*3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水濡れ禁止		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード(SIMカード)、クリアケース(試供品)、SIM取り出し用ピン(試供品)、周辺機器共通

危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。
また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意ください
・スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
・電車やバスなどの座席シートに挟み込む
- 分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品の背面カバーを取り外そうとしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 充電端子や外部接続端子、イヤホンマイク接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子や外部接続端子、イヤホンマイク接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントから抜く。
・本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

注意



破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレーション設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
au ICカード(SIMカード) / microSDメモ리카ードトレイやSIM取り出し用ピン(試供品)などの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようにご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

危険



火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



本製品内のau ICカード(SIMカード) / microSDメモ리카ードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、au ICカード(SIMカード)やmicroSDメモ리카ードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



心臓の弱い方は、着信バイブレーション(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレーション(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響について確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気を遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



au ICカード(SIMカード)の取り付け / 取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出し用ピン(試供品)の先端にご注意ください。
SIM取り出し用ピン(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。



自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。



本製品の受話口、サブマイク、送話口/マイク、スピーカー、リアカメラ、ハイブレータ(背面右下)部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

警告



指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。



コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)に変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタ(別売)で充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



電源プラグについたほごりは、拭き取ってください。
ほごりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au ICカード(SIMカード)について

注意



au ICカード(SIMカード)を取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)の取り扱いについて

警告



SIM取り出し用ピン(試供品)の先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
けがや失明などの原因となります。

注意



SIM取り出し用ピン(試供品)の使用により皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。

■ クリアケース(試供品)について

注意



クリアケース(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ部	ガラス	スクリーン印刷
外装ケース(背面)	PC	塗装、ハードコート
外装ケース(周囲)	PC	UV
フロントカバー	PC+20%GF	UV
電源ボタン、音量大/小ボタン	PC+TPU	UV
指紋センサー	ウェーハ	エポキシ樹脂
リアカメラレンズ	ガラス	防塵フィルム処理
指紋センサーリング、リアカメラリング	アルミ合金	アルマイト処理
受話口	ステンレス鋼板	パンチング+PVD20%
ライト	PMMA	—
USB Type-C™接続端子(外部接続端子) 内側の金属部	銅合金	ニッケルメッキ、金メッキ
イヤホン接続端子内側の円形金属部	ステンレス	—
イヤホン接続端子内側の接続端子部	ステンレス 銅合金	— ニッケルメッキ、金メッキ
au ICカード(SIMカード) / microSDメモリーカードトレイ(外装部)	PC	UV
au ICカード(SIMカード) / microSDメモリーカードトレイ	PC+10%GF	—
au ICカード(SIMカード) / microSDメモリーカードトレイ(パッキン)	シリコンゴム	—

■ SIM取り出し用ピン(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	ステンレス	—

■ クリアケース(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
本体	TPU	—

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード(SIMカード)、クリアケース(試供品)、SIM取り出し用ピン(試供品)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかけられないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れて、中で重いもの下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
- また、外部機器をUSB Type-C™接続端子(外部接続端子)やイヤホンマイク接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続端子やイヤホンマイク接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子やイヤホンマイク接続端子を变形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子やイヤホンマイク接続端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようご注意ください。故障の原因となります。
- 水などの液体をかけないでください。また風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。
- 水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・手袋をしたままでの操作
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク®」が本製品内で確認できるようになっております。ホーム画面で画面を上からスワイプ→[設定]→[システム]→[認証情報]本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 明るさセンサーを指でふさいで、明るさセンサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 通常はau ICカード(SIMカード) / microSDメモリーカードトレイを閉めた状態で使用してください。トレイを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカード(SIMカード) / microSDメモリーカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口/マイク、スピーカー、イヤホンマイク接続端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

Li-ion 00

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

- 内蔵電池はご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au ICカード(SIMカード)について

- au ICカード(SIMカード)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないうようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au ICカード(SIMカード)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカード(SIMカード)にシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカード(SIMカード)を挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ SIM取り出し用ピン(試供品)について

- SIM取り出し用ピン(試供品)を紛失しないようご注意ください。
- SIM取り出し用ピン(試供品)を、au ICカード(SIMカード)/microSDメモリーカードのトレイ取り出し用の穴以外に挿入しないでください。故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかけられないように使用してください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出し用ピン(試供品)は他の携帯端末には使用しないでください。携帯端末の故障、破損の原因となります。

■ クリアケース(試供品)について

- クリアケース(試供品)を本製品に取り付けるときは、指を挟まないでください。指がなどの原因となります。
- クリアケース(試供品)が汚れた場合は清掃用アルコールをしみ込ませた布などで拭いてください。定期的にお手入れ(半年に1度程度)を行うことをおすすめいたします。
- クリアケース(試供品)に無理な力がかけられないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときには、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した画像などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国/地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能/無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能/Wi-Fi®(無線LAN)機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4FH4/XX8/DS4/OF4

- Bluetooth®機能: 2.4FH4/XX8
本製品は2.4GHz帯を使用します。FH4は、変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能: 2.4DS/OF4
本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内での使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

5.2GHz帯および5.3GHz帯(W52/W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。ただし、5.2GHz帯(W52)高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局との通信を除きます。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

IEEE802.11b/g/n
IEEE802.11a/n/ac
W52 W53 W56

- 20MHz
W52(5.2GHz/ 36, 40, 44, 48ch)
W53(5.3GHz/ 52, 56, 60, 64ch)
W56(5.6GHz/ 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)
- 40MHz
W52(5.2GHz/ 38, 46ch)
W53(5.3GHz/ 54, 62ch)
W56(5.6GHz/ 102, 110, 118, 126, 134ch)
- 80MHz
W52(5.2GHz/ 42ch)
W53(5.3GHz/ 58ch)
W56(5.6GHz/ 106, 122ch)

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカード(SIMカード)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます(▶P.53)。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が必要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご利用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカード(SIMカード)が取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや携帯電話全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリーカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「許可」／「許可しない」をタップしてください。

- アプリ／機能によっては「常に許可」「アプリの使用中的み許可」などが表示される場合があります。

例: +メッセージを初めて起動した場合

1 アクセス権限の許可をリクエストする確認画面→[許可]／[許可しない]

通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリの権限を設定する

■ アプリごとに利用する機能を設定する

1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]

2 [アプリ]→[XX個のアプリをすべて表示]→アプリを選択→[権限]

3 機能を選択→[許可]／[許可しない]

■ 機能ごとに利用するアプリを設定する

1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]

2 [アプリ]→[権限マネージャ]→機能を選択

3 アプリを選択→[許可]／[許可しない]

memo

- ◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気が取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

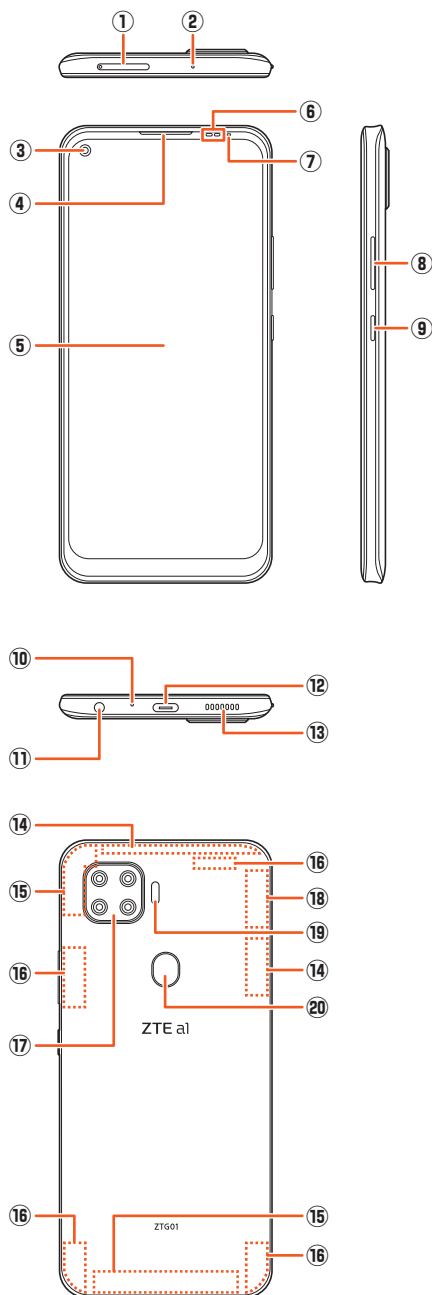
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使しましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備	14
各部の名称と機能	14
au ICカード(SIMカード)について	14
au ICカード(SIMカード)を取り付ける／取り外す	14
充電する	15
電源を入れる／切る	16
画面をロックする／画面ロックを解除する	16
初期設定を行う	16
au IDを設定する	16

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① au ICカード(SIMカード)／microSDメモ리카ードトレイ
au ICカード(SIMカード)やmicroSDメモ리카ードを取り付け／取り外しできます。
- ② サブマイク
スピーカーフォン(ハンズフリー)通話時に使用します。
- ③ フロントカメラ
写真や動画などの自分撮りなどに使用します。
- ④ 受話口
- ⑤ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑥ 近接／明るさセンサー
通話中などに画面を消灯させたり、周囲の明るさを感知して自動調整するためのセンサーです。
- ⑦ 通知LED
- ⑧ 音量大／小ボタン
- ⑨ 電源ボタン
- ⑩ 送話口／マイク
- ⑪ イヤホンマイク接続端子
- ⑫ USB Type-C™接続端子(外部接続端子)
USB Type-C™ケーブルなどを接続します。
- ⑬ スピーカー
- ⑭ 4Gアンテナ部*
- ⑮ Wi-Fi®／GPSアンテナ部*
- ⑯ 5Gアンテナ部*
- ⑰ リアカメラ
- ⑱ Wi-Fi®アンテナ部*

⑲ ライト

⑳ 指紋センサー

指紋認証による、画面ロックのロック解除に利用します。

* アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

memo

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。また、電池は本体に内蔵されており、お客様による取り外しはできません。

au ICカード(SIMカード)について

au ICカード(SIMカード)にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card O4に対応しております。



IC(金属)部分

memo

- au ICカード(SIMカード)を取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au ICカード(SIMカード)のIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- au ICカード(SIMカード)を正しく取り付けしていない場合やau ICカード(SIMカード)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- 取り外したau ICカード(SIMカード)はなくさないようにご注意ください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカード(SIMカード)を挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au ICカード(SIMカード)が挿入されていない場合

au ICカード(SIMカード)が挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

- ・ 電話をかける*／受ける
- ・ SMSの送受信
- ・ +メッセージの送受信
- ・ auメールの初期設定および送受信
- ・ SIMカードロック設定
- ・ 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

* 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

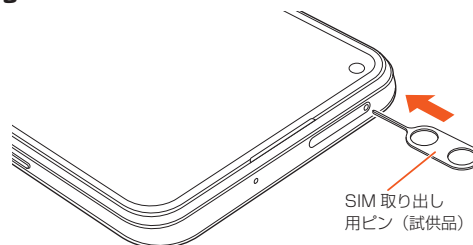
au ICカード(SIMカード)を取り付ける／取り外す

au ICカード(SIMカード)の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

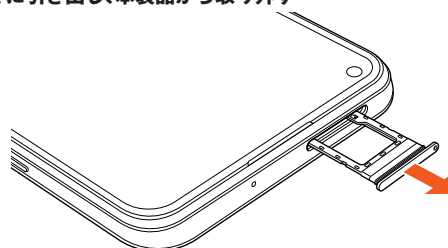
- ・ au ICカード(SIMカード)の取り付け／取り外しは、付属のSIM取り出し用ピン(試供品)が必要です。

■ au ICカード(SIMカード)を取り付ける

- 1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をau ICカード(SIMカード)／microSDメモ리카ードトレイ取り出しホールに水平に差し込む

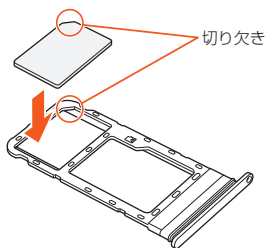


- 2 au ICカード(SIMカード)／microSDメモ리카ードトレイをまっすぐに引き出し、本製品から取り外す



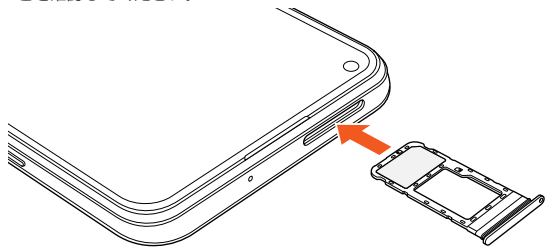
3 au ICカード(SIMカード)のIC(金属)面を下向きにしてau ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイに取り付ける

- ・切り欠きの向きにご確認ください。
- ・au ICカード(SIMカード)がau ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイから浮かないようにしっかりと取り付けてください。



4 au ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイを本体に差し込み、奥までまっすぐ押し込む

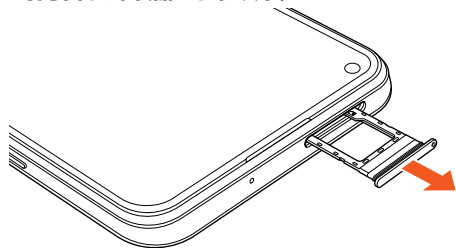
- ・au ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイにすき間がないことを確認してください。



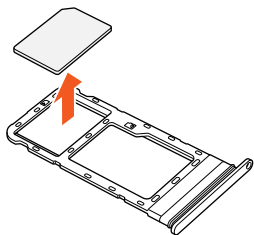
au ICカード(SIMカード)を取り外す

1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をau ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイ取り出しホールに水平に差し込む

2 au ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出し、本製品から取り外す



3 au ICカード(SIMカード)をau ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイから取り外す



4 au ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイを本体に差し込み、奥までまっすぐ押し込む

- ・au ICカード(SIMカード) / microSDメモリカードトレイにすき間がないことを確認してください。

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

memo

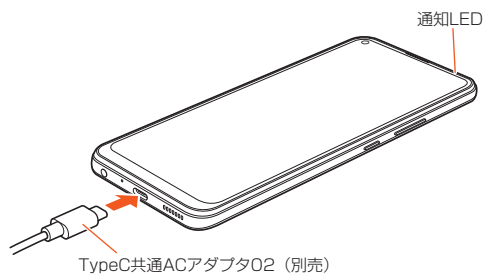
- ◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- ◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- ◎ 本製品の通知LEDが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- ◎ 接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

指定のACアダプタを使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.70)をご参照ください。

1 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

2 TypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-C™プラグをUSB Type-C™接続端子(外部接続端子)にまっすぐに差し込む 本製品の通知LEDが点灯したことを確認してください。



3 充電が完了したら、USB Type-C™接続端子(外部接続端子)からTypeC共通ACアダプタ02(別売)のUSB Type-C™プラグをまっすぐに引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ02(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

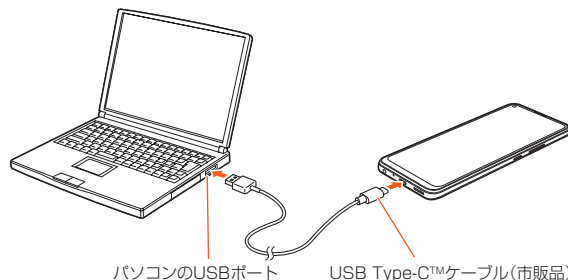
- ◎ USB Type-C™接続端子(外部接続端子)に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、通知LEDがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。

パソコンを使って充電する

USB Type-C™ケーブル(市販品)を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが起動している状態で、USB Type-C™ケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続

2 USB Type-C™ケーブル(市販品)のUSB Type-C™プラグをUSB Type-C™接続端子(外部接続端子)にまっすぐに差し込む 本製品の通知LEDが点灯したことを確認してください。



3 充電が完了したら、USB Type-C™ケーブル(市販品)をUSB Type-C™接続端子(外部接続端子)とパソコンから取り外す

memo

- ◎ パソコンの接続環境によっては、充電できない場合があります。
- ◎ 電池が切れた状態で充電すると、通知LEDがすぐに点灯しないことがあります。充電は開始しています。
- ◎ 指定のACアダプタ(別売)での充電と比べて時間が長くなる場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源ボタンを1秒以上長押し

- ◎ 画面ロックを設定している場合は解除してください(▶P.16)。
- ・初めて電源を入れたときは初期設定画面(▶P.16)が表示されます。

memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

電源を切る

1 電源ボタンを2秒以上長押し

2 [電源を切る]→[タッチで電源オフ]

再起動する

1 電源ボタンを2秒以上長押し

2 [再起動]→[タッチで再起動]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 本製品が1回振動するまで、電源ボタンを10秒以上長押し

memo

- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

セーフモードで起動する

不具合などにより本製品に問題が生じたときに、診断用のセーフモードで起動します。

1 電源ボタンを2秒以上長押し

2 [ZTE]ロゴが表示されているときに音量小ボタンを長押し

- セーフモードで起動します。
- ・セーフモードで起動すると、画面左下に「セーフモード」と表示されます。
- ・セーフモードの状態では再起動すると、通常の状態では再起動することができます。

memo

- ◎ セーフモードで起動する前に、必要なデータはバックアップをとることをおすすめします。
- ◎ セーフモードで起動すると、追加していたウィジェットが削除されることがあります。

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面をロックする

画面を消灯すると画面ロックの状態になり、誤動作を防ぐことができます。

1 画面点灯中に、電源ボタン

- 画面が消灯し、画面ロック状態になります。

memo

- ◎ 何も操作せずに設定した時間が経過しても画面は消灯し、画面ロックの状態になります。画面が消灯するまでの時間は変更することができます(▶P.52)。

画面ロックを解除する

ロック画面は、画面を点灯させたときに表示される画面です。画面ロックを解除すると本製品の操作ができます。

1 画面消灯中に、電源ボタン

- 画面が点灯し、ロック画面が表示されます。

2 設定したロック解除方法で画面ロックの解除

memo

- ◎ 画面ロック中に「緊急呼出電話」が表示されたときは、タップすると緊急呼出電話画面が表示されます。
- ◎ 画面ロックの解除方法を設定するには、「画面ロック」(▶P.53)をご参照ください。ロック解除方法を「なし」に設定している場合は、ロック画面は表示されません。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

- ・使用状況により、表示される設定などが異なる場合があります。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[開始]

2 Wi-Fi®ネットワークの設定を行う

3 アプリとデータのコピーの設定を行う

- すでにご使用のAndroid端末からGoogleアカウントやアプリなどのコピーができます。

4 Googleアカウントの設定を行う

5 Googleサービスなどの内容を確認する

6 スマートフォンの保護の設定を行う

7 指紋センサーのスワイプの設定を行う

8 Googleアシスタントの設定を行う

9 Google Payの設定を行う

10 その他の項目の設定を行う

11 プライバシーポリシーを確認する

12 システムナビゲーションの設定を行う

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→Gmailのメールアドレスまたは電話番号を入力/[アカウントを作成]

- Googleアカウントをすでにお持ちの場合はGmailのメールアドレス、または電話番号を入力して「次へ」をタップし、画面の指示に従ってセットアップをしてください。

Googleアカウントをお持ちではない場合は「アカウントを作成」をタップし、画面の指示に従ってセットアップを行ってください。

memo

- ◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、au スマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面で画面を上にはスワイプ→[My au]

2 [au ID でログインする]

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

- au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
- au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

基本操作

基本操作	18
タッチパネルの使いかた.....	18
ナビゲーションバーの使いかた.....	18
指紋認証機能を利用する.....	18
縦／横画面表示を切り替える.....	19
ホーム画面を利用する.....	19
アプリケーションを起動する.....	20
本製品の状態を知る.....	20
最近使用したアプリを起動する.....	21
マナーモードを設定する.....	21
メニューを表示する.....	21
スクリーンショットを撮影する.....	21
文字入力	21
文字を入力する.....	21
Gboardを設定する.....	22

基本操作

タッチパネルの使いかた

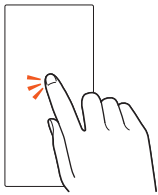
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

• 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼った操作

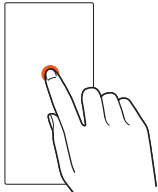
■ タップ/ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



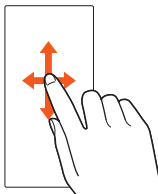
■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。



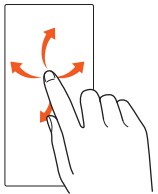
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



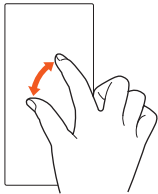
■ スワイプ(フリック)

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



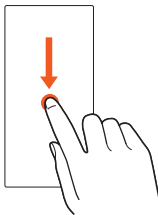
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。









■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた



画面下部に表示されるナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。

アイコン	概要
	非表示ボタン ナビゲーションバーを非表示にします。画面下部を上からスワイプすると、ナビゲーションバーを再表示できます。
	戻るボタン 前の画面に戻ります。
	ホームボタン ホーム画面を表示します。また、ロングタッチするとGoogleアシスタントを起動できます。
	履歴ボタン 最近使用したアプリケーションの履歴一覧を表示します。
	回転ボタン 縦画面/横画面に切り替えます。「画面の自動回転」がオフのとき、回転に対応したアプリケーションを表示中に本製品の向きを変えると表示されます。
	マルチウィンドウボタン マルチウィンドウの利用中に表示されます。画面下に表示したアプリを非表示にします。

マルチウィンドウを利用する

本製品の表示画面を分割し、2つのアプリを表示、操作できます。あらかじめ、操作したい2つのアプリを起動しておいてください。

• アプリケーションによっては、マルチウィンドウを利用できない場合があります。

- 1  → 操作したいアプリのサムネイルで 
- 2 **[分割画面]**

指紋認証機能を利用する

指紋認証は、指紋センサーに指を当てて行う認証機能です。この機能を利用して、画面ロックの解除などをすることができます。

指紋認証機能について

■ 指紋認証利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋の特徴情報を利用して認証を行います。指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーに正しく指を当てた際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、指の登録範囲を広くするなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上りなどで指がふやけている
 - 指が水や汗などで濡れている
 - 指が乾燥している
 - 指に脂(ハンドクリームなど)が付着している
 - 指が泥や油で汚れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本製品を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによる生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となる場合があります。また、指紋センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなどの先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- 指紋センサーにはほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を当てた時間が短すぎたり長すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中央に触れるようにまっすぐに当ててください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

指紋を登録する

本製品に初めて指紋を登録する場合は次の操作で行います。

1 ホーム画面で画面を上からスワイプ→[設定]→[セキュリティ]

2 [指紋]→[指紋認証IDマネージャー]

■ 画面ロックの解除方法を「なし」/「スワイプ」に設定している場合

3 画面の指示に従って画面のロック方式を設定

4 [後で登録]

指紋認証IDマネージャー画面が表示されます。

- 「登録」を選択すると、続けて指紋を登録することができます。以降は画面の指示に従って操作してください。

5 [指紋を登録]

6 以降は画面の指示に従って操作

■ 画面ロックの解除方法を「パターン」/「PIN」/「パスワード」に設定している場合

3 設定した解除方法でロックを解除

4 [後で登録]

指紋認証IDマネージャー画面が表示されます。

- 「登録」を選択すると、続けて指紋を登録することができます。以降は画面の指示に従って操作してください。

5 [指紋を登録]

6 以降は画面の指示に従って操作

memo

- ◎ 登録した指紋の名前を設定するには、指紋認証IDマネージャー画面→登録した指紋を選択→名前を入力→[保存]と操作します。
- ◎ 登録した指紋を削除するには、指紋認証IDマネージャー画面→登録した指紋を選択→[削除]→[削除]と操作します。
- ◎ 指紋を追加するには、指紋認証IDマネージャー画面→[指紋を登録]→画面の指示に従って操作します。
- ◎ 指紋センサーをタッチして端末起動や画面ロックの解除を行う場合は、指紋認証IDマネージャー画面→[端末起動/画面ロックの解除]をオンにしてください。
- ◎ 指紋の登録が失敗するときは、指を少し強めに押し当てながらなぞってください。また、指を変えることで、認証性能が改善されることがあります。

指紋認証を行う

1 指紋認証を行う画面で、指紋センサーに指を当てる

指紋が認証されます。

memo

- ◎ 指を指紋センサーから離して、再度当ててください。

指紋センサーをスワイプして機能を利用する

指紋センサーをスワイプしてアプリを起動したり、通知を表示したりすることができます。

1 ホーム画面で画面を上からスワイプ→[設定]→[セキュリティ]

2 [指紋]→[指紋センサーのスワイプ]→オンにする



3 「アプリ起動」/「通知表示」のラジオボタンをタップ

- 「アプリ起動」を選択した場合は、続けて[アプリ起動]→アプリを選択と操作してください。

memo

- ◎ 指紋を登録していなくても利用できます。
- ◎ ホーム画面で画面を上からスワイプ→[設定]→[便利な機能と操作]→[指紋センサーのスワイプ]→オンにする操作をしても、機能を有効にすることができます。


縦/横画面表示を切り替える

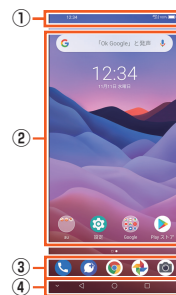
回転に対応したアプリを表示中に本製品の向きを変えると、ナビゲーションバーに「」が表示されます。「」をタップすると、縦画面/横画面に切り替わります。「画面の自動回転」をオンに設定している場合は、本製品の向きに合わせて画面の表示が自動的に回転します。詳しくは、「ディスプレイの設定をする」(▶P.52)をご参照ください。

memo

- ◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品が水平に近い状態の場合は画面表示が切り替わらないことがあります。
- ◎ 本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数のページで構成されています。「」をタップすると、いつでもホーム画面を表示することができます。



- 1 ステータスバー
- 2 カスタマイズエリア
アプリやウィジェットを配置できます。アプリをフォルダにまとめることもできます。
- 3 ドック(Dock)メニュー
アプリやフォルダを配置でき、画面を切り替えても常に表示されます。
- 4 ナビゲーションバー
アイコンをタップして操作します。ナビゲーションバーについては、「ナビゲーションバーの使いかた」(▶P.18)をご参照ください。

memo

- ◎ ホーム画面の壁紙を変更したい場合は、「ホーム画面とロック画面の設定をする」(▶P.51)をご参照ください。

ホーム画面をカスタマイズする

1 ホーム画面のアイコンのない場所をロングタッチ

2	壁紙	ホーム画面とロック画面の壁紙を設定します。
	効果	ホーム画面を左右にスライド/スワイプしてホーム画面シートを切り替えたときの画面効果を設定します。
	ウィジェットを追加	▶P.19「ウィジェットを追加する」
	設定	ホーム画面にアイコンを追加 新しいアプリをダウンロードしたとき、ホーム画面にアプリを追加するかどうかを設定します。
		アプリアイコンのバッジ表示 通知に関する設定をします。
		アイコンのレイアウト ホーム画面のアイコンの配置方法を設定します。
		レイアウトのロック ホーム画面の変更を禁止するかどうかを設定します。
		画面ループ ホーム画面の最後の画面でスライド/スワイプして最初の画面に移動するかどうかを設定します。
		Googleアプリを表示 Googleの画面をホーム画面に表示するかどうかを設定します。 表示する設定にした場合は、ホーム画面を右にスワイプするとGoogleの画面が表示されます。

memo

- ◎ ホーム画面の設定は、「ホーム画面とロック画面」(▶P.51)でも設定できます。

■ ホーム画面のアプリ/フォルダ/ウィジェットを並べ替える

1 アプリ/フォルダ/ウィジェットをロングタッチ

2 移動する位置へドラッグ

memo

- ◎ アプリをドラッグして他のアプリに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンをまとめることができます。

■ ウィジェットを追加する

1 ホーム画面のアイコンがない場所をロングタッチ→[ウィジェットを追加]

2 ウィジェットをロングタッチ→追加する場所にドラッグ

■ シートを追加する

1 アプリ/フォルダ/ウィジェットをロングタッチ

2 ホーム画面の左端/右端へドラッグ

新しくシートが追加されます。

3 配置したい場所にアイコンを移動し、指を離す

アプリケーションを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

1 ホーム画面で画面を上へスワイプ→アプリケーションをタップ

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
時刻	時刻
不在着信	不在着信／伝言メモあり
新着+メッセージ	新着+メッセージあり／新着SMSあり
新着メール	新着メールあり (auメール)
新着メール	新着メールあり (Gmail)
アラーム	アラームのスヌーズ中
カレンダー	カレンダーの予定通知あり
着信中	着信中／通話中／発信中
USB機器	USB機器を接続中
Bluetooth	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
データ送信	データを送信／アップロード
データ受信	データを受信／ダウンロード
アプリ	アプリケーションのインストール完了
インストール済みアプリ	インストール済みアプリケーションのアップデート通知あり
USBテザリング	USBテザリング中
Bluetoothテザリング	Bluetooth®テザリング中
2つ以上のテザリング	2つ以上のテザリングを利用中
スクリーンショット	スクリーンショットあり
microSDメモリーカード	microSDメモリーカードの検出／マウント中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
電池	電池レベル状態 100% / 残量なし / 充電中
電波	電波レベル・通信状態 (LTE/WiMAX 2+) / レベル4 / 圏外 / 通信中
5G	5G使用可能 ^{*1}
4G	4G (LTE/WiMAX 2+) 使用可能 ^{*2}
ローミング	ローミング中
機内モード	機内モード設定中
Wi-Fi	Wi-Fi®の電波レベル / 通信中
アラーム	アラーム設定あり
マナーモード	マナーモード (バイブレーション) 設定中
マナーモード	マナーモード (ミュート) 設定中
サイレントモード	サイレントモード設定中
Wi-Fiテザリング	Wi-Fi®テザリング中
Bluetooth	Bluetooth®機器と接続中
VPN	VPN接続中
GPS	GPS利用中
データセーバー	データセーバー設定中

*1 「5G」エリア外では「4G」のネットワークをご利用いただけます。

*2 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネル／クイック設定パネルについて

通知アイコンが表示されたときは、通知パネルを開くと通知の概要を確認できます。また、対応するアプリを起動することもできます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

・通知パネルを下にドラッグするとクイック設定パネルが表示されます。



《通知パネル》

《クイック設定パネル》

- クイック設定パネル**
アイコンをタップして機能のオン/オフなどを設定できます。
- 画面の明るさ**
画面の明るさを調節できます。「自動」にチェックを入れると周囲の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節します。
- 通知情報**
着信などの通知や実行中の機能などを確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。
- 通知管理**
アプリケーションからの通知を表示するかどうかを設定します。
- 通知消去**
通知をすべて消去します。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。
- クイック設定パネルの編集**
クイック設定パネルの編集や表示/非表示、端末設定メニューの表示ができます。



memo


- ◎ ステータスバーを2本指で下にドラッグしても、クイック設定パネルを表示できます。
- ◎ 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にスワイプします。


通知LEDについて

通知LEDの点灯/点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。


LEDの色と動作	通知内容
赤の点灯	充電中に電池残量が90%未満であることを示します。
緑の点灯	充電中に電池残量が90%以上であることを示します。
緑の点滅	不在着信などがあることを示します。

最近使用したアプリを起動する




画面下部の「」をタップすると、最近使用したアプリを一覧表示し、アプリを起動することができます。

- 1  最近使用したアプリの一覧が表示されます。
- 2 **使用するアプリをタップ**

memo

◎ 一覧からアプリを削除するには、手順 2 で削除したいアプリを上からスワイプします。「」をタップすると、最近使用したアプリがすべて削除されます。

画面の固定について

- ◎ 「画面の固定」(▶P.53)がオンの場合、「」→「固定」と操作すると画面を固定できます。画面を固定すると、固定した画面のアプリ以外の操作ができなくなります。
- ◎ 固定を解除するには、「」と「」を同時にロングタッチします。

マナーモードを設定する

周囲に迷惑がかからないよう、着信音や操作音などが鳴らないように設定できます。

- 1 **音量大/小ボタンを押す**
マナーモードアイコンと音量調節バーが表示されます。
- 2 **マナーモードアイコンをタップしてマナーモードの設定を切り替える**
 - ・マナーモードアイコンをタップするたびにマナーモードの設定が切り替わります。
 - 🔔 (マナーモードオフ)
通知音、バイブレーション共に動作します。
 - 🔕 (バイブレーション)
通知音は鳴らず、バイブレーションのみ動作します。
 - 🔕 (ミュート)
通知音、バイブレーション共に動作しません。





音量調節バー
マナーモードアイコン

memo

◎ マナーモード設定中でもカメラのシャッター音や録画開始/終了音は鳴動します。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「」や「」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

表示されている画面のスクリーンショットを撮影できます。

- 1 **電源ボタンと音量下ボタンを1秒以上長押し**

memo

- ◎ 撮影したスクリーンショットは内部ストレージに保存されます。保存されたスクリーンショットは「Files」(▶P.43)で確認できます。
- ◎ アプリケーションや機能によってはスクリーンショットを撮影できない場合があります。

文字入力


文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

キーボードレイアウトを切り替える

本製品では、次のキーボードレイアウトを利用できます。




12キー	携帯電話と同じレイアウトのキーボードです。キーを繰り返しタップして文字を入力します。フリック入力でも入力することもできます。
QWERTY	一般的なパソコンと同じレイアウトのキーボードです。日本語はローマ字で入力します。フリック入力でも入力することもできます。
手書き	手書きで文字を入力します。
GODAN	ローマ字入力に特化したレイアウトのキーボードです。フリック入力でも入力することもできます。

- 1 **文字入力画面**→→**[言語]**→**[キーボードの言語とレイアウト]**欄に表示されているレイアウト名をタップ→**利用するレイアウトを選択**→**[完了]**

Gboardを利用する

「12キー」、「QWERTY」を例に、「Gboard」の基本的な操作方法について説明します。操作方法はGboardのアップデートにより、本書の内容から変更されることがあります。



- 1 キーボードバー機能のアイコンが表示されます。
- 2 戻すキー/逆トグルキー
文字を未確定状態に戻します。文字入力中は文字入力キーに割り当てられている文字を逆順で表示します。
- 3 カーソルキー
カーソルを右/左に移動します。上または下にフリックすると、カーソルを別の入力欄に移動します。
- 4 絵文字/ステッカー/顔文字キー
絵文字/ステッカー/顔文字などのリストを表示します。
- 5 文字種キー
文字種(文字入力モード)を切り替えます(ひらがな/英字/数字)。ロングタッチするとアイコンが表示され、設定画面の表示などができます。
- 6 削除キー
カーソルの前の文字を削除します。
- 7 スペースキー/変換キー
スペースの入力、または文字の変換を行います。
- 8 改行キー
改行します。文字入力中は文字を確認します。ロングタッチするとアイコンが表示され、片手モードへの切り替えなどができます。アプリや入力欄によっては「」「」「」などが表示されます。
- 9 シフトキー
大文字/小文字を切り替えます。

フリック入力について

キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返しタップすることなく、入力したい文字を入力できます。キーに触れると、フリック入力が入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字が入力されます。

例:「お」を入力する場合



文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

- 1 入力済みの文字をロングタッチ
- 2 [●]／[●]をドラッグして文字列を選択
- 3 [切り取り]／[コピー]
- 4 貼り付ける位置をタップ
- 5 [●]→[貼り付け]

Gboardを設定する

1 文字入力画面→[⚙]

Gboard設定画面が表示されます。

2 言語	キーボードのレイアウトを変更したり、他の言語のキーボードを利用できます。
設定	キーの表示やキーボードのレイアウト、キー操作したときの動作について設定できます。
テーマ	キーボードのデザインを変更できます。
テキストの修正	変換候補についての設定や、文字入力をサポートする修正機能についての設定ができます。
ガイド入力	文字間をスライドして単語を入力するガイド入力についての設定ができます。
音声入力	音声入力についての設定ができます。
単語リスト	▶P.22「単語リストに登録する」
検索	予測検索候補の表示について設定できます。
Gboard を共有	他のユーザーとGboardを共有します。
詳細設定	アプリアイコンの表示や使用統計情報の送信などを設定できます。
評価のお願い	Gboardの評価をします。

単語リストに登録する

単語の登録をしておくことで、変換候補に表示されるようになります。

- 1 文字入力画面→[⚙]
- 2 [単語リスト]→[単語リスト]→登録する言語をタップ
- 3 [+]
- 4 「単語を入力します」欄をタップ→単語を入力
- 5 「よみを入力します」欄をタップ→読みを入力
- 6 [←]

memo

◎ 登録した単語を削除するには、手順3で削除する単語をタップ→[■]と操作します。

電話・連絡先

電話	24
電話をかける.....	24
電話を受ける.....	25
伝言メモを利用する.....	25
自分の電話番号を確認する.....	25
連絡帳	26
連絡帳について.....	26
連絡先を登録する.....	26
連絡先から電話をかける.....	26
連絡先を編集／削除する.....	26
連絡先をお気に入りに登録する.....	26
連絡先をインポート／エクスポートする.....	26

電話

電話をかける

- 1 ホーム画面→[☎]→[📞]**
電話番号入力画面が表示されます。
- 2 電話番号を入力**
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
✕: 入力した数字を1桁削除
✕ (ロングタッチ): すべての数字を削除
電話番号を入力すると、登録されている連絡先と部分的に一致する電話番号が表示され、タップして発信することができます。
「新しい連絡先を作成」「連絡先に追加」「SMSを送信」のメニューをタップすると、登録やメッセージの作成ができます。
- 3 [🔊]→通話**
通話中に音量大/小ボタンを押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。
- 4 [🔇]**

memo

- ◎ 発信中/通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- ◎ 送話口/マイクを覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

電話番号入力画面のメニューを利用する

- 1 電話番号入力画面で1つ以上の番号を入力中に[:]**
- 2**

2秒間の停止を追加	電話番号の後ろに「:」を追加します。通話を開始すると、「:」の後ろに入力した番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
待機を追加	電話番号の後ろに「:」を追加します。通話を開始すると、「:」の後ろに入力した番号をプッシュ信号として送信するかどうかの確認画面が表示されます。

通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

通話を追加	別の相手に電話をかけます。
保留	通話を保留/保留を解除します。
連絡先	連絡帳を表示します。
ミュート	相手にこちらの声が聞こえなくなります。再度タップすると聞こえるようになります。
キーボード	プッシュ信号を送信します。
スピーカー	ハンズフリーで通話できます。再度タップするとスピーカーから相手の声が聞こえるようになります。再度タップすると元に戻ります。

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo

- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- ◎ 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に120分間解除されます。

通話に関する設定をする

- 1 ホーム画面→[☎]→[:]→[設定]**
- 2**

音とバイブレーション	着信音	着信音の種類を設定します。
	着信時にバイブレーションもON	着信音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
通話に回答して終了する	キーボード操作音	ダイヤルキーのタップ時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	電源ボタンで通話を終了	通話中に電源ボタンを押したとき、通話を終了するかどうかを設定します。
スピードダイヤル	着信後バイブレーション	相手が電話を受けたときにバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
	よく使う連絡先を登録して、短縮番号で電話をかけることができます。電話番号発信画面で、ダイヤルキーで短縮番号を長く押します。	
クイック返信	電話に出られない場合に返信するメッセージを編集できます。	
通話設定	伝言メモ	▶P.25「伝言メモを利用する」
	着信転送・お留守番サービス	▶P.56「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」 ▶P.57「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」
	割り込通話	通話中にかかってきた電話を受けるかどうかを設定します。
	発信者番号通知	▶P.57「発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)」
	ガイドの言語を変更する	▶P.60「英語ガイドランスへ切り替える」 ▶P.60「日本語ガイドランスへ切り替える」
	オプションサービス申込	オプションサービスの申し込みを行います。
ブロック中の電話番号	▶P.25「着信拒否を設定する」	
ボイスメール	詳細設定	ボイスメールの詳細を確認できます。
	ユーザー補助機能	補聴機能を有効にするかどうかを設定します。
電話アプリについて	ビルドバージョン	ビルドバージョンを確認できます。
	オープンソースライセンス	オープンソース ライセンスを確認できます。
	プライバシーポリシー	プライバシー ポリシーを確認できます。
	利用規約	利用規約を確認できます。

memo

伝言メモについて

- ◎ 録音できるのは1件あたり約60秒間です。

通話履歴を利用して電話をかける

1 ホーム画面→[📞]→[通話履歴]

通話履歴一覧画面が表示されます。

- ✓: 着信
- ✗: 不在着信
- 📞: 伝言メモあり
- ➡: 発信
- ✗: 着信拒否

2 電話をかける履歴の「📞」をタップ

選択した相手に電話を発信します。

通話履歴をタップ→[通話の詳細]と操作すると通話詳細画面が表示され、音声発信以外にも伝言メモ再生や電話番号のコピーなどの操作を行うことができます。

memo

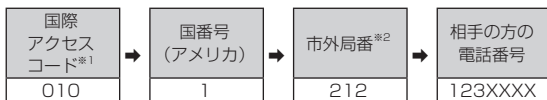
◎ 通話履歴をロングタッチすると、発信前に番号を編集したり、履歴を削除したりできます。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力→[📞]



※1 「0」をロングタッチすると「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

memo

- ◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- ◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なし)157番(通話料無料)
一般電話から☎0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

1 着信画面→[📞]を上をスワイプ

画面が点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合は、「電話に出る」をタップします。

2 通話→[📞]

■ 電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- ・相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。連絡帳に登録されている場合は、名前と電話番号が表示されます。
 - ・相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「不明*」
- ※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

- ◎ 5G NET、5G NET for DATAをご契約いただいていない場合、「モバイルデータ」(▶P.50)をオフにしてご利用ください。
- かかってきた電話に出なかった場合は
- ◎ ステータスバーに「📞」が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった電話番号や連絡帳に登録されている名前などが表示されます。
- 着信時に着信音、バイブレーションを無効にするには
- ◎ 着信時に電源ボタンや音量大/小ボタンを押すと、着信音、バイブレーションを無効にすることができます。
- 他の機能をご利用中に通話を開始した場合は
- ◎ 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されません。
- ◎ レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されます。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信画面→[📞]を上をスワイプ

着信を拒否する

1 着信画面→[📞]を下にスワイプ

画面が点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合は、「拒否」をタップします。

- ・着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

1 着信画面→[📞]を上をスワイプ

画面が点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信した場合は、「メッセージ」をタップします。

2 送信したいメッセージをタップ

- ・「カスタム返信を作成...」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

memo

◎ 既存のメッセージを編集する場合は、ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]→[クイック返信]→既存のメッセージを選択して編集→[OK]と操作します。

着信拒否を設定する

1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]→[ブロック中の電話番号]

1 不明	非通知の着信を拒否するかどうかを設定します。
2 番号を追加	着信をブロックする番号を登録できます。 ・登録済みの番号の[✗]→[ブロック解除]と操作すると、登録済みの番号を解除できます。

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に 응답できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]→[通話設定]→[伝言メモ]

2 伝言メモ	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
着信音再生時間	応答するまでの時間を設定します。

memo

- ◎ 録音された伝言メモがある場合は、通話履歴に「📞」が表示されます。通話履歴をタップ→[ボイスメールを再生します]→アプリを選択→[1回のみ]/[常時]と操作すると録音された伝言メモを確認できます。
- ◎ 録音された伝言メモを削除するには、通話履歴を長押し→[削除]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[デバイス情報]→[SIMのステータス]

- ・「SIMの電話番号」欄で自分の電話番号が確認できます。

連絡帳

連絡帳について

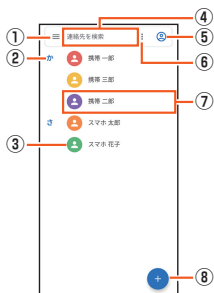
連絡帳には連絡先の各種情報が表示されます。

memo

- ◎ 連絡帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 「アカウントの設定をする」(▶P.53)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡帳を同期できます。

連絡先を登録する

- 1 ホーム画面で画面を上へスワイプ→[連絡帳]
連絡先一覧画面が表示されます。



《連絡先一覧画面》

- 1 設定メニュー
ラベルの作成や連絡先の各種設定などができます。
- 2 インデックス
連絡先のインデックスを表示します。
- 3 連絡先の画像
連絡先に登録した画像を表示します。
- 4 検索
連絡先を検索できます。
- 5 Googleアカウントアイコン
Googleアカウントの登録や管理ができます。
- 6 メニュー
連絡先の選択や連絡先一覧に表示する連絡先のカスタマイズができます。
- 7 連絡先
タップすると、連絡先詳細表示画面が表示されます。
- 8 新規登録
新しい連絡先を登録できます。

- 2 [🔍]

- 3 必要な項目を入力

- ・電話番号やメールアドレスなどを設定できます。
- ・「その他の項目」をタップして項目を増やすことができます。

- 4 [保存]

memo

- ◎ 一般電話にかけるときは、市外局番から入力してください。

連絡先から電話をかける

- 1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ
連絡先の詳細表示画面が表示されます。
- 2 [通話]

連絡先を編集／削除する

連絡先を編集する

- 1 編集する連絡先の詳細表示画面→[連絡先を編集]
連絡先編集画面が表示されます。
- 2 項目を選択して編集
- 3 [保存]

連絡先を削除する

- 1 連絡先一覧画面→削除する連絡先をロングタッチ→[🗑️]→[削除]

memo

- ◎ 登録内容を確認してから削除する場合は、連絡先一覧画面→削除する連絡先をタップ→[⋮]→[削除]→[削除]と操作します。

連絡先をお気に入りに登録する

- 1 お気に入りに登録する連絡先の詳細表示画面→[☆]
・お気に入りに登録すると、アイコンが「★」に変わります。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先をインポート／エクスポートできます。

- ・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

- 1 連絡先一覧画面→[≡]→[設定]→[インポート]
- 2 [.vcf ファイル]→[OK]
- 3 インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)を選択

エクスポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードへエクスポートします。

- 1 連絡先一覧画面→[≡]→[設定]→[エクスポート]
- 2 保存場所とファイル名を指定→[保存]

auメール	28
auメールのご利用にあたって	28
auメールを利用する	28
迷惑メールフィルターを設定する	28
+メッセージ(SMS)	29
+メッセージについて	29
+メッセージのご利用にあたって	29
+メッセージの利用方法を確認する	29
連絡先を登録する	29
公式アカウントを登録する	29
メッセージを送信する	29
グループを作る／グループに送信する	29
+メッセージを設定する	29
ブロックリストを設定する	30
Gmail	30
Gmailを起動する	30
Gmailを送信する	30
Gmailを受信する	30

auメール

auメールのご利用にあたって

- auメールを利用するには、5G NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- auメールサービス詳細は、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/email/auemailapp/>
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

auメールの初期設定について

- auメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「メールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

memo

- ◎ auメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、auメールの送受信に時間がかかることがあります。

auメールを利用する

- 1 ホーム画面で画面を上へスワイプ→[auメール]
auメールのトップ画面が表示されます。

auメールの利用方法を確認する

auメールの「アプリ操作ガイド」で利用方法を確認できます。

- 1 auメールのトップ画面→[≡]→[アプリ操作ガイド]
auメールアプリの操作説明がブラウザで表示されます。
- 2 確認する利用方法をタップ
「au動画ガイド」で動画による説明も確認できます。

memo

- ◎ データセーバー(▶P.50)設定中の場合、メールを受信するときは、auメールのトップ画面を下方向にスワイプしてください。
- ◎ auメールの利用方法確認には、データ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信/拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

- 1 auメールのトップ画面→[≡]→[アドレス変更/迷惑メール設定]
• 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- おすすめの設定にする場合
- 2 [オススメの設定はこちら]→[OK]
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。
- 詳細を設定する場合
- 2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

ヘルプ	迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。	
オススメ設定	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメです。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。	
個別設定	受信リストに登録/アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯/PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のauメールアドレス」またはその一部(@au.com/@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 アドレス帳受信設定へ: 「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。
	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制: メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制: 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※ 「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制: メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制: 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウイルスメール規制: 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。	

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

memo

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

+メッセージ(SMS)

+メッセージについて

「+メッセージ(SMS)」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
au電話番号宛だけでなく、国内他事業者(NTTドコモ、ソフトバンク)へのメッセージ送付や、企業の公式アカウントとのメッセージのやりとりなどを行うことができます。

+メッセージのご利用にあたって

初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

+メッセージのモードについて

+メッセージでは、相手が+メッセージを利用している場合は、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送ることができます。
相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送ることができます。

+メッセージの利用方法を確認する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [🏠]→[マイページ]→[ヘルプ]

以下の内容がブラウザで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。

- よくあるご質問
- 使い方ガイド

※ なるホーの使い方練習(下記QRコードにアクセスすると、基本的な使い方を実際に体験できます。)



連絡先を登録する

QRコードによる連絡先登録

+メッセージの利用者どうしであれば、+メッセージ専用QRコードを読み込むことで、連絡先として登録できます。

1 ホーム画面→[🏠]

2 [🏠]→[+]→[QRコードで追加]



◎ 専用のQRコードを表示するには、ホーム画面→[🏠]→[マイページ]→[QRコード]と操作します。

新しい連絡先を登録

1 ホーム画面→[🏠]

2 [🏠]→[+]→[新しい連絡先]

連絡帳アプリの連絡先の作成画面が表示されます。

3 連絡先を登録

公式アカウントを登録する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [🏠]→[公式アカウントを探す]→[+] / [🏠]

おすすめやカテゴリごとに分けられた公式アカウントが表示されます。登録した公式アカウントは[🏠]に表示されます。

メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプや写真・動画などのコンテンツを送信できます。

1 ホーム画面→[🏠]

[🏠]: 連絡先一覧画面を表示

[🏠]: メッセージ一覧画面を表示

2 [🏠]→[+]→[新しいメッセージ]

メッセージの作成画面が表示されます。

- 同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧で相手をタップしてもメッセージを作成できます。

3 連絡先一覧から相手先を選択

- 「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
- 「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- SMSを海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。
010 + 国番号 + 相手先電話番号
※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

- 本文は、相手先が+メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。
- SMSモード利用の場合、全角最大670/半角最大1,530文字まで入力できます。

5 [📤]

メッセージが送信されます。

- 送信したメッセージをロングタッチすると、コピー、転送、削除ができます。

グループを作る / グループに送信する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [🏠]→[+]→[新しいグループメッセージ]

3 連絡先一覧から相手先を選択

- 「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
- 「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- ※ グループは100人まで選択できます。

4 [OK]

5 [グループ名(入力スキップ可)]→任意の名称を入力

[🏠]をタップしてグループのプロフィール写真を設定することもできます。

6 [OK]

7 メッセージを入力→[📤]

メッセージの送信方法については「メッセージを送信する」(▶P.29)をご参照ください。

+メッセージを設定する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [🏠]→[マイページ]→[設定]

+メッセージの設定メニューが表示されます。

メッセージ	バックアップや連絡先未登録者フィルタリングなどの設定を行うことができます。
公式アカウント	公式アカウントの通知音設定を行うことができます。
写真や動画	写真や動画のダウンロード設定やサイズ設定などを行うことができます。
テーマカラー・背景	テーマカラーや背景設定を行うことができます。
通知	メッセージ着信時の通知関連の設定を行うことができます。
プライバシー	パスコードやブロックリストなどの設定を行うことができます。
その他	ユーザー情報引き継ぎ設定や初期化などの設定を行うことができます。

ブロックリストを設定する

相手とのやりとりをブロックすることができます。ブロック/ブロック解除の設定ができます。

- 1 ホーム画面→[🔍]
- 2 [🔍]→[マイページ]→[設定]→[プライバシー]→[ブロックリスト]
- 3 [ブロックリスト編集]
- 4 [⊕]
 - ・「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい電話番号を入力し、「この送信者をブロックする」をタップします。
 - ・「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい相手の名前を入力し、連絡先を選択します。
 - ・連絡先一覧に表示されている連絡先からブロックしたい相手を選択します。

公式アカウントとのやりとりをブロックする

- 1 ホーム画面→[🔍]
- 2 [🔍]
ブロックしたい公式アカウントを選択します。
- 3 公式アカウントのメッセージ画面→[🔍]
- 4 [ブロック]



memo

© 公式アカウントをブロックすると、同時に利用が停止されます。また、「🔍」から削除されます。

Gmail

Gmailを起動する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。

- ・ Gmailの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.16)をご参照ください。
- ・ 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[Gmail]
Gmail画面が表示されます。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[Gmail]
- 2 [⊕]
- 3 宛先を入力
- 4 [件名]→件名を入力
- 5 [メールを作成]→本文を入力
- 6 [▶]

Gmailを受信する

- 1 Gmail画面→画面を下にスライド
- 2 メールをタップ
メールの内容が表示されます。

インターネット

インターネット接続.....	32
インターネットに接続する.....	32
ブラウザ(Chrome)	32
Webページを表示する.....	32
ブックマーク/履歴を利用する.....	32

インターネット接続

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi[®])機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信(5G NET、5G NET for DATA)(▶P.32「データ通信を利用する」)
- Wi-Fi[®](▶P.46「無線LAN(Wi-Fi[®])機能」)



memo

◎ 5G NETまたは5G NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「5G NET」や「5G NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめ5G NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

5G NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面で画面を上にスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]→[詳細設定]→[アクセスポイント名]→[5G NET for DATA]と操作します。



memo

◎ 5G NET、5G NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auのホームページをご参照ください。

データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を続けた場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

ブラウザ(Chrome)

Webページを表示する

1 ホーム画面→[🌐]

Chrome画面が表示されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。
- SMSやメール内のURLをタップするとChromeが自動的に起動します。

2 画面上部のアドレスバーをタップ

アドレスバーが表示されていない場合は、画面を下にスライドして表示します。

3 URLまたは検索する文字を入力

入力した文字から始まる候補が入力欄の下に一覧表示されます。

4 一覧表示から項目を選択

入力した文字を直接検索するには、ソフトウェアキーボードの「→」をタップします。



memo

◎ 非常に大きなWebページを表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

ブックマーク/履歴を利用する

ブックマークの登録や、履歴の確認が行えます。

ブックマークに登録する

表示中のWebページをブックマークに登録します。

1 ブックマークに登録するWebページを表示

2 [:]→[☆]

ブックマークからWebページを表示する

登録したブックマークからWebページを表示します。

1 Chrome画面→[:]→[ブックマーク]

2 ブックマークをタップ

履歴を確認する

閲覧したWebページの履歴を確認できます。

1 Chrome画面→[:]→[履歴]

履歴一覧画面が表示されます。

- 履歴一覧画面で項目をタップすると、履歴のWebページが表示されます。

履歴を削除する

閲覧したWebページの履歴を削除できます。

1 履歴一覧画面→[✕]

履歴が削除されます。



memo

◎ 閲覧履歴データをまとめて削除する場合は、履歴一覧画面→[閲覧履歴データを削除]→期間や条件を設定→[データを削除]→[削除]と操作してください。

アプリケーション

アプリケーション一覧	34
アプリケーション一覧.....	34
カメラ	35
カメラをご利用になる前に.....	35
写真を撮影／動画を録画する.....	35
カメラのモードを切り替える.....	35
写真／動画を見る.....	35
音楽	36
音楽を再生する(YT Music).....	36
My au	36
My auを利用する.....	36
あんしんフィルター for au	36
あんしんフィルター for auを利用する.....	36
Androidアプリ	37
Google Playを利用する.....	37
アプリケーションを管理する.....	37
カレンダー	37
カレンダーを利用する.....	37
時計	38
アラームを利用する.....	38
世界時計を利用する.....	38
時計の設定をする.....	38
ストップウォッチを利用する.....	38
タイマーを利用する.....	38
電卓	39
電卓を利用する.....	39
ライト	39
ライトを利用する.....	39

アプリケーション一覧

アプリケーション一覧

アプリケーションの一覧を名前順(記号/アルファベット/五十音順)に記載しています。

アプリケーションの表示名	参照先
+メッセージ	P.29
Amazon ショッピング	-
商品を調べたいときも、今すぐ買いたいときも。Amazonショッピングアプリは、「探す」「比べる」「買う」「受け取る」を簡単、便利にする機能で、お客様のお買い物をサポートします。	
au PAY	-
au WALLETTアプリはau PAYアプリに生まれ変わりました。 au PAYの利用、au PAYプリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au PAYカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。	
au Pay マーケット	-
日用品・グルメ・ファッションから家電まで豊富な品ぞろえからお買い物が楽しめるKDDI公式の総合通販サイトです。	
au Wi-Fi接続ツール	-
auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」をご利用いただくためのアプリです。	
au スマートパス	-
「au スマートパスプレミアム」/「au スマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。	
auメール	P.28
Chrome	P.32
Webページを閲覧できます。	
Duo	-
ビデオ通話を行うことができます。	
Facebook	-
友達や家族などの親しい人々や、それを越えた新しい人々とつながり、コミュニティを築くことができます。世界で何が起きているか発見したり、自分に関連することをシェアしたり表現したりすることができる無料の「实名制」コミュニケーションアプリです。	
Files	P.43
Gmail	P.30
Google	-
キーワードから本製品内やWebページを対象に検索できます。	
Instagram	-
写真や動画を自由に編集・投稿し、ビジュアルを通して家族や友達、そして世界中の利用者と簡単につながることができるアプリです。	
Messenger	-
友達や知り合いとリアルタイムにメッセージのやりとりやグループチャット・ビデオチャットができる無料アプリです。Bot サービスで、自分が興味のあるニュースやサービスも受信することができます。	
My au	P.36
毎月のご請求額や、データ残量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。	
Play ストア	P.37
Playムービー&TV	-
Google Playで映画などをレンタル・購入できます。	
SATCH	-
QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。	
Twitter	-
Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。	
YouTube	-
動画を再生したり、録画した動画をアップロードしたりできます。	
YT Music	P.36
YouTube Music にアップロードされている、さまざまな音楽コンテンツや本製品に保存された音楽ファイルを再生できます。	
あんしんフィルター for au	P.36
お子さまが「スマートフォン」「タブレット」を安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブサイトへのアクセスやアプリケーションの利用を制限するフィルタリングアプリです。	
カメラ	P.35
カレンダー	P.37
サービスTOP	-
ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。	
設定	P.50
データお預かり	-
写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されている様々なデータをauのサーバに預けたり、microSDメモリーカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。	
デジラアプリ	-
データ通信の残データ容量を手軽に確認できます。データ容量が少なくなった際は追加購入(チャージ)ができます。auおすすめコンテンツ(映画、コミックなど)も無料で楽しめます。	
電卓	P.39
電話	P.24
時計	P.38
ドライブ	-
Googleドライブに保存したファイルを開覧・編集できます。	
取扱説明書	-
本製品の詳しい使いかたを確認できます。	

アプリケーションの表示名	参照先
ニュース	-
あなたの関心に合わせて、世界中の出来事をお届けするニュースアプリです。	
ニュースパス	-
たくさん新聞・雑誌・テレビ・ネットのニュース記事の中から、旬なニュースや、あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。	
フォト	P.35
写真や動画を見ることができます。	
マップ	-
現在の地図を表示したり、目的地までの経路を調べたりすることができます。	
迷惑メッセージ・電話ブロック	-
迷惑SMS・電話からお客さまを守るサービスです。架空請求などの迷惑SMSや迷惑電話を自動検知し、スマートフォンの画面に警告画面を表示したり、迷惑メッセージフォルダに自動振り分けをします。また、公共施設や企業などからの着信時には、アドレス帳になくても発信元を自動表示します。	
メッセージ	-
テキストメッセージ(SMS、MMS)の送受信や、チャットができます。	
レコーダー	-
音声を録音できます。	
連絡帳	P.26



memo

- ◎ アプリケーションの機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ 表に記載のアプリケーション以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリケーションがアプリ一覧に表示される場合があります。
- ◎ アプリケーションの表示名は、アプリケーションのバージョンアップなどにより本書に掲載されているものと異なる場合があります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- ・レンズが指紋や油脂などで汚れると、鮮明な写真／動画が撮れません。撮る前に、柔らかい布などで拭いてください。
- ・撮影時にはレンズ部に指や髪などがつかないようにご注意ください。
- ・手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
- また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- ・動画を録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- ・ライトを目に近づけて点灯させないでください。ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などを起こす原因となります。
- ・マナーモード設定中でも写真撮影のシャッター音、動画録画の開始音、終了音は鳴ります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のサイトなどからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のサイトなどに掲載したりするなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- ・お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。

写真を撮影／動画を録画する

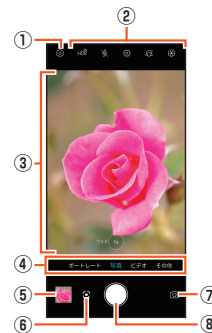
写真を撮影する

- 1 ホーム画面→[📷]
- 2 カメラを被写体に向ける→[📷]
シャッター音が鳴り、写真が保存されます。

動画を録画する

- 1 ホーム画面→[📹]
- 2 画面を左にスワイプ
動画録画モードに切り替わります。
- 3 カメラを被写体に向ける→[📷]
動画の撮影が開始されます。
- 4 [🔴]
動画の録画が終了し、動画が保存されます。

撮影画面の見かた



- 1 **カメラ設定／パネルを表示**
各モードでの設定や、写真／動画の保存先などの基本設定を行います。各モードによって設定できる項目が異なります。
- 2 **撮影時のオプションの設定**
HDR設定やフラッシュ設定、フィルターなど撮影時のオプション機能を設定します。
- 3 **モニター**
カメラで映している状態を確認しながら撮影ができます。モードやオプション機能によって、モニター内でレンズ切り替えや各種設定などの操作を行うことができます。フォーカスしたい部分をタップすると、タップしたところで自動的にピントが合います。
- 4 **カメラモードの切り替え(▶P.35)**
- 5 **撮影した写真や動画の確認**
- 6 **Googleレンズの起動**
- 7 **リアカメラ／フロントカメラの切り替え**
- 8 **撮影ボタン**
写真の撮影や、動画の録画開始／終了の操作を行います。

memo

◎ 撮影画面で何も操作しないまま一定の時間が経過すると、モニターが消灯します。画面をタップするとモニターが再度表示されます。

カメラのモードを切り替える

- 1 ホーム画面→[📷]
- 2 画面下部のカメラモードを左右にスワイプ
・「その他」を選択したときは、続けてモードを選択してください。

3	背景ぼかし	手前のオブジェクトを認識して、背景をぼかした撮影を行います。
	スーパーナイト	暗い場所でも明るく彩度の高い写真の撮影を行います。
	ポートレート	顔を認識して、背景をぼかした撮影を行います。
	写真	写真の撮影を行います。
	ビデオ	動画の撮影を行います。
	その他	マニュアル ホワイトバランスやシャッター速度などをマニュアルで調整して撮影を行います。
		パノラマ パノラマ撮影を行います。
		モノカラー 残したい色を設定すると、その色をそのまま残したモノクロ写真を撮影することができます。
		タイムラプス タイムラプス撮影を行います。
		スローモーション 実際よりもゆっくりと動くスローモーション動画を撮影します。
		ドキュメント 物体の傾きやゆがみを補正して撮影を行います。
		ウォーターマーク ウォーターマークを入れて撮影を行います。
		マクロ 接写撮影を行います。

写真／動画を見る

内部ストレージ／microSDメモリカード内の写真／動画を見ることができます。

- 1 **ホーム画面→[📷]**
内部ストレージやmicroSDメモリカードなどに保存されている写真／動画の一覧が表示されます。
- 2 **写真／動画をタップ**
写真／動画が表示されます。

音楽

音楽を再生する(YT Music)

YT Musicは、最新アルバムやミュージックビデオなどのさまざまな音楽コンテンツを楽しむアプリです。内部ストレージ/microSDメモリカードに保存されている音楽を再生することもできます。ここでは内部ストレージ/microSDメモリカードに保存されている音楽を再生する操作を説明します。あらかじめ、Google アカウントでログインし、YT Music画面→[🔴]→[設定]→[ライブラリとオフライン]と操作して「デバイスのファイルを表示」を有効にしておいてください。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[YT Music]
YT Music画面が表示されます。
 - 確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 2 [ライブラリ]→[アルバム]／[曲]／[アーティスト]→[デバイスのファイル]
- 3 項目をタップ→[再生]／再生する曲をタップ
曲が再生されます。

My au

My auを利用する

月々のご請求額やデータ残量(ギガ)を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[My au]
My auのトップ画面が表示されます。
 - 初めて起動したときは、画面の指示に従ってログインしてください。
- 2 確認する項目を選択する
直近のご利用状況、ご請求額、ご契約情報の確認や、各種お手続きができます。



memo

◎ 「デバイス管理アプリ」を有効とする画面や利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の表示に従って操作してください。

あんしんフィルター for au

あんしんフィルター for auを利用する

お子さまにスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブサイトへのアクセスやアプリの利用を制限するフィルタリングサービスです。お子さまの年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブサイトやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。また、保護者が夜間などスマートフォンの利用を制限したり、お子さまの居場所を確認したりすることもできます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[あんしんフィルター for au]
初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。
- 2 [au 電話番号でログイン]
画面の指示に従って操作してください。
※ ご利用になるお子様のau電話番号でログインしてください。
- 3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。
- 4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマホを初めて使うお子さまや操作に少し慣れたお子さま向け [制限対象]ゲーム/動画/音楽、懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
中学生	スマホの操作におおむね慣れたお子さま向け [制限対象]懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
高校生	スマホ利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象]SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象]出会い、アダルトなど

- 5 [規約に同意してサービスを利用開始する]
利用規約を必ずご確認ください。
- 6 「位置情報、利用情報の取得・利用について」の内容を確認→[はい]
「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。
- 7 「利用登録が完了しました」の表示を確認→[OK]
- 8 [このデバイス管理アプリを有効にする]
- 9 「よく使うアプリの設定」で利用したいアプリを選択→[設定する]
事前に利用したいアプリを許可してください。
- 10 設定完了
ウェブサイトが表示されます。
以降は「あんしんフィルターアプリ」をブラウザアプリとしてご利用ください。

■ 管理者情報を登録する

お子さまのスマホで設定してください。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[あんしんフィルター for au]
- 2 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」の表示をタップ
- 3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]
- 4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。
- 5 [申請する]
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。
- 6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]



memo

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

保護者の方のPCまたはスマホからご利用ください。保護者が遠隔で、お子さまのスマホの設定を行うことができます。

- 1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載している管理者ページのURLをタップ
<https://anshin-access.netstar-inc.com/>
- 2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]
- 3 管理者メニューを表示
<主な機能>
 - フィルタリング強度の変更
 - 個別のウェブサイトやアプリの制限/許可設定
 - 利用時間帯の設定
 - 利用状況の確認
 - エリア検索



memo

◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/anshin-filter/>

Androidアプリ

Google Playを利用する

Google Playからさまざまなアプリケーションをダウンロード・購入できます。

アプリを検索し、インストールする

1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[Playストア]

Google Play画面が表示されます。

2 アプリケーションを選択→[インストール]

・確認画面が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

■ 有料のアプリケーションを購入するときは

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
・アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。

1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[アプリ]→[特別なアプリアクセス]→[不明なアプリのインストール]

2 インストールを許可するアプリを選択→[この提供元のアプリを許可]

カレンダー

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。

・カレンダーの利用にはGoogleアカウントが必要です。Googleアカウント設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.16)をご参照ください。

1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

・説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[≡]

2	スケジュール	カレンダーをスケジュール単位で表示します。
	日	カレンダーを日単位で表示します。
	3日間	カレンダーを3日単位で表示します。
	週	カレンダーを週単位で表示します。
	月	カレンダーを月単位で表示します。
	検索	スケジュール内を検索します。
	設定	カレンダーの各項目を設定します。
	ヘルプとフィードバック	カレンダーのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[+]→[予定]

新規作成画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 [保存]

カレンダーを設定する

週の開始日やタイムゾーン、通知などを設定します。

1 カレンダー画面→[≡]→[設定]→[全般]

2 変更する項目を設定

時計

アラームを利用する

設定時刻になると、アラーム音やバイブレーションでお知らせします。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[時計]→[アラーム]
アラーム一覧画面が表示されます。
- 2 登録先の時刻をタップ
登録先を追加するには、「●」をタップしてください。
- 3 時刻を設定

4	アラーム日	アラームの繰り返しをする日を設定します。
	スヌーズ	スヌーズの間隔や回数を設定します。
	アラーム音	アラーム音を設定します。
	バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
	ラベル	アラームの名称を設定します。

- 5 [保存]
・「●」/「●」をタップしてアラームのオン/オフを設定できます。



memo

- ◎ 通話中にアラームが起動した場合、受話口(レシーバー)からアラームを知らせる割込音が鳴ります。
- ◎ 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。

アラームを止める

- 1 アラーム鳴動中に画面を上をスワイプ
アラームが停止します。
・画面上部にアラーム通知が表示された場合は「無効」をタップします。

アラームを削除する

- 1 アラーム一覧画面→削除するアラームをロングタッチ
・削除したいアラームにチェックを入れてください。
- 2 [■]→[削除]

世界時計を利用する

複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[時計]→[世界時計]
世界時計画面が表示されます。
- 2 [●]
世界時計の都市選択画面が表示されます。
- 3 追加する都市をタップ
・「都市を検索」をタップして都市を検索することができます。



memo

- ◎ 登録した都市を削除する場合は、削除する都市をロングタッチ→削除する都市にチェックマークを入れる→[■]→[削除]と操作してください。

時計の設定をする

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[時計]→[:]
- 2

アラーム鳴動時間	アラーム音やバイブレーションが停止するまでの時間を設定します。
アラームをサイレントにしない	マナーモード設定中でもアラーム音を鳴動するかどうかを設定します。
ハードキー操作設定	アラーム鳴動時に電源ボタンまたは音量ボタンを押したときの動作を設定します。
タイマー音	タイマーで設定した時間経過後のタイマー音を設定します。
バイブレーション	タイマー音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

ストップウォッチを利用する

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[時計]→[ストップウォッチ]
ストップウォッチ画面が表示されます。
- 2 [●]
時間計測が始まります。



memo

- ◎ 計測を一時停止する場合は「●」をタップし、再開する場合は「●」をタップします。「●」をタップすると、計測をリセットします。

タイマーを利用する

設定時間が経過すると、タイマー音でお知らせします。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[時計]→[タイマー]
タイマー画面が表示されます。
- 2 時間を設定→[OK]
 - ・あらかじめ設定済みのタイマーをタップして、時間を設定することもできます。「●」をタップして新規追加することもできます。
 - ・「●」をタップすると、時間をリセットすることができます。
- 3 [●]
カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「無効」をタップするとタイマー音は止まります。また、タイマーを途中で停止する場合は「●」をタップします。「●」をタップするとカウントダウンを再開します。
 - ・「●」をタップすると、時間をリセットすることができます。

電卓

電卓を利用する

電卓を利用できます。

- 1 ホーム画面で画面を上からスワイプ→[電卓]
電卓画面が表示されます。
画面のキーをタップして計算を行うことができます。

ライト

ライトを利用する

ライトを利用できます。

- 1 ステータスバーを下からスライド
- 2 [ライト]
タップするたびにライトが点灯/消灯します。

memo

◎ ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。

ファイル管理

ファイル管理	42
本製品の保存領域について	42
microSDメモリカードを利用する	42
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す	42
USB Type-C™ケーブル(市販品)でパソコンと接続する	43
メモリの使用量を確認する	43
microSDメモリカードをフォーマットする	43
Files	43
Filesを利用する	43

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、内部ストレージとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

内部ストレージ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

memo

◎ アプリケーションによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、内部ストレージに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

memo

- ◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください(▶P.43)。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動/コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。
- ◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。
- ◎ microSDメモリカードの取り付け/取り外しには、付属のSIM取り出し用ピン(試供品)が必要です。

■ 取扱上のご注意

- ・ microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- ・ microSDメモリカード挿入口には、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

■ microSDメモリカードを内部ストレージとして使用する

microSDメモリカードを内部ストレージとして使用できます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ストレージ]→[XXX製SDカード]**
- 2 [内部ストレージとしてフォーマット]**
 - ・ 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

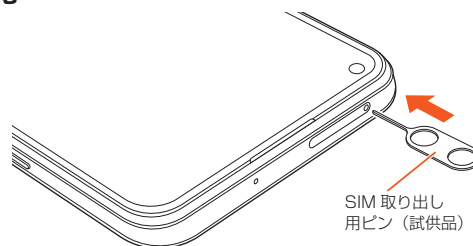
- ◎ お持ちのmicroSDメモリカードを使用する場合は、microSDメモリカード内のデータを別の場所にコピーしてください。データは本製品の内部ストレージやパソコン、Google ドライブなどのクラウドサーバーにコピーできます。
- ◎ データをコピーしないまま、microSDメモリカードを内部ストレージ化すると、microSDメモリカード内のデータはすべて消去されます。
- ◎ 内部ストレージ化したmicroSDメモリカードを本製品から取り外さないでください。microSDメモリカードに保存したアプリなどが使用できなくなります。
- ◎ 内部ストレージ化したmicroSDメモリカードは、本製品以外では使用できなくなります。microSDメモリカードを外部ストレージとして再度使用するときは、microSDメモリカードのフォーマットが必要です。
- ◎ 外部ストレージとしてフォーマットすると、内部ストレージ化したときにmicroSDメモリカードに保存したデータはすべて削除されます。microSDメモリカードに保存していたアプリケーションなどは使用できなくなりますので、十分ご注意のうえ、ご使用ください。

microSDメモリカードを取り付ける/取り外す

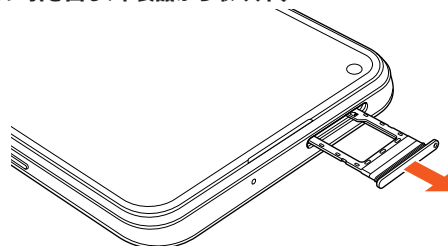
microSDメモリカードの取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

microSDメモリカードを取り付ける

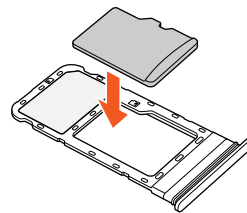
- 1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をau ICカード(SIMカード)/microSDメモリカードトレイ取り出しホールに水平に差し込む**



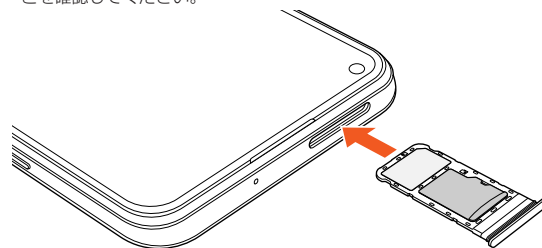
- 2 au ICカード(SIMカード)/microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出し、本製品から取り外す**



- 3 microSDメモリカードの端子(金属)面を下にしてau ICカード(SIMカード)/microSDメモリカードトレイに取り付ける**
 - ・ microSDメモリカードがau ICカード(SIMカード)/microSDメモリカードトレイから浮かないようにしっかりと取り付けてください。



- 4 au ICカード(SIMカード)/microSDメモリカードトレイを本体に差し込み、奥までまっすぐ押し込む**
 - ・ au ICカード(SIMカード)/microSDメモリカードトレイにすき間がないことを確認してください。

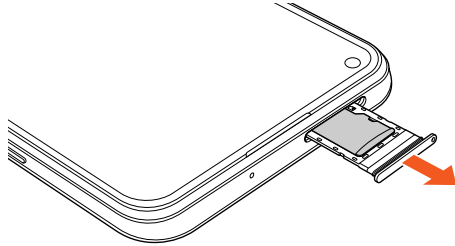


memo

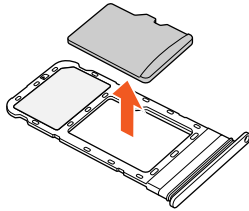
- ◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモリカードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

- 1 SIM取り出し用ピン(試供品)の先端をau ICカード(SIMカード)／microSDメモリカードトレイ取り出しホールに水平に差し込む
- 2 au ICカード(SIMカード)／microSDメモリカードトレイをまっすぐに引き出し、本製品から取り外す



- 3 microSDメモリカードをau ICカード(SIMカード)／microSDメモリカードトレイから取り外す



- 4 au ICカード(SIMカード)／microSDメモリカードトレイを本体に差し込み、奥までまっすぐ押し込む

・ au ICカード(SIMカード)／microSDメモリカードトレイにすき間がないことを確認してください。

memo

◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB Type-C™ケーブル(市販品)でパソコンと接続する

USB Type-C™ケーブル(市販品)を利用してパソコンと接続し、本製品内のデータをパソコンで利用できます。

- 1 本製品とパソコンをUSB Type-C™ケーブル(市販品)で接続する
- 2 [ファイルを送信]／[写真を送信]
・ 本製品がパソコンに認識され、ファイルをやりとりできるようになります。

memo

◎ USB接続モードを変更するには、ステータスバーを下にスライド→USB接続モードの通知をタップ→USB接続モードを選択します。

メモリの使用量を確認する

本体やmicroSDメモリカードのストレージ容量の確認をすることができます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ストレージ]
ストレージ画面が表示されます。

memo

◎ microSDメモリカードがマウントされていない場合は、microSDメモリカードを取り付けた状態で、ストレージ画面→[XXX製SDカード]→[マウント]と操作します。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ストレージ]
- 2 [XXX製SDカード]→[フォーマット]
- 3 [OK]→[完了]

memo

◎ フォーマットは充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

Files

Filesを利用する

[Files]を利用してデータのコピー／移動などができます。

本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピー／移動する

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[Files]
- 2 [内部ストレージ]→フォルダを選択
- 3 コピー／移動するファイルの[▼]をタップ→[移動]／[コピー]
- 4 microSDメモリカードを選択
- 5 任意の場所で[ここにコピー]／[ここに移動]

microSDメモリカード内のファイルを本体にコピー／移動する

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[Files]
- 2 microSDメモリカードを選択→フォルダを選択
- 3 コピー／移動するファイルの[▼]をタップ→[移動]／[コピー]
- 4 [内部ストレージ]
- 5 任意の場所で[ここにコピー]／[ここに移動]

Bluetooth[®]機能	46
Bluetooth [®] 機能について.....	46
Bluetooth [®] 機能をオンにする.....	46
Bluetooth [®] 機器を登録する.....	46
Bluetooth [®] 機能でデータを送受信する.....	46
無線LAN(Wi-Fi[®])機能	46
無線LAN(Wi-Fi [®])機能について.....	46
Wi-Fi [®] 機能をオンにする.....	46
Wi-Fi [®] 機能をオフにする.....	46
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する.....	47
Wi-Fi [®] ネットワークの設定を削除する.....	47
Wi-Fi [®] 機能の詳細設定をする.....	47
Wi-Fi Direct [®] を利用する.....	47
テザリング機能	47
テザリングについて.....	47
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する.....	47
USBテザリング機能を利用する.....	47
Bluetooth [®] テザリング機能を利用する.....	47

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[Bluetooth]
Bluetooth®設定画面が表示されます。

- 2 オンにする

memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。

・機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

- 1 Bluetooth®設定画面→[新しいデバイスとペア設定する]
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。
- 2 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択
- 3 [ペア設定する]

ペア設定コード入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じペア設定コード(4~16桁の数字)を入力します。

memo

- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。


ペア設定コードについて

ペア設定コードは、Bluetooth®機器どうしが初めて通信するとき、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する4~16桁の暗証番号です。

memo

- ◎ ペア設定コード入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。

Bluetooth®機器の接続を解除する

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[接続済みのデバイス]→[すべて表示]
- 2 接続を解除するBluetooth®デバイス名の「」をタップ→[削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]



Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにし、相手のBluetooth®機器とペアリングを行ってください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。
・送信は各アプリのメニューなどから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

- 1 他のBluetooth®機器からデータ送信
ステータスバーに「」が表示されます。
- 2 [承諾]
ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。
・ステータスバーを下にスライド→[着信ファイル]の[承諾]と操作しても受信することができます。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]→オンにする
Wi-Fi®機能がオンになり、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。



memo

- ◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
- ◎ Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®機能をオフにする

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]→オフにする


Wi-Fi® ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi]
Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。
- 2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択
 - セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。「」をタップすると、パスワード(セキュリティキー)のQRコードを読み取ってWi-Fi®ネットワークに接続できます。
※ パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - 接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

Wi-Fi® ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークを追加]
「ネットワークを追加」の「」をタップすると、Wi-Fi®ネットワークの情報をQRコードから読み取って接続できます。
- 2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 4 [✓]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi® ネットワークの設定を削除する

- 1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択
- 2 [削除]

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[削除]と操作しても、接続を切断できます。
- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi® 機能の詳細設定をする

- 1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi 設定]
- 2 必要な項目を設定

Wi-Fi を自動的にONにする	保存済みのネットワークの検出時にWi-Fi®をオンにするかどうかを設定します。
オープン ネットワークの通知	高品質の公共ネットワークが利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
モバイル ネットワークに自動切替	アクセスポイントの電波が弱いときやインターネット接続ができないとき、自動的にモバイルネットワークに切り替えるかどうかを設定します。
証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
ネットワーク評価プロバイダ	ネットワーク評価プロバイダを選択します。
Wi-Fi Direct	▶P.47「Wi-Fi Direct®を利用する」
MAC アドレス	MACアドレスが表示されます。
IP アドレス	IPアドレスが表示されます。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®対応機器どうしを接続するように設定できます。

- 1 Wi-Fi設定画面→[Wi-Fi 設定]→[Wi-Fi Direct]
接続先一覧画面が表示されます。
 - 接続要求を出す場合は、接続先一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みの機器をタップ→[OK]と操作します。
 - [⋮]→[デバイスの検索]と操作すると、接続先一覧を更新できます。
 - [⋮]→[デバイス名を変更]と操作すると、接続先側で表示される本製品の名称を変更できます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることができる機能です。

memo

- ◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

Wi-Fi® テザリング機能を利用する

本製品をWi-Fi®でテザリングできるように設定します。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 [Wi-Fiアクセスポイント]→オンにする
初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「今後表示しない」にチェックを入れると、次回以降は表示されません。

USBテザリング機能を利用する

本製品をUSB経由でテザリングできるように設定します。
あらかじめ「USB Type-C™ケーブル(市販品)でパソコンと接続する」(▶P.43)を参照してパソコンと接続してください。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 「USBテザリング」をオンにする
初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「今後表示しない」にチェックを入れると、次回以降は表示されません。

memo

- ◎ パソコンに本製品のドライバソフトのインストール画面が表示された場合は、インストール完了までしばらくお待ちください。

Bluetooth® テザリング機能を利用する

本製品をBluetooth®でテザリングできるように設定します。

- 1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[アクセス ポイントとテザリング]
- 2 「Bluetoothテザリング」をオンにする
初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。
「今後表示しない」にチェックを入れると、次回以降は表示されません。

機能設定	50
設定メニューを表示する	50
ネットワークとインターネットの設定をする	50
接続済みのデバイスの設定をする	51
通知とステータスバーの設定をする	51
アプリの設定をする	51
電池の設定をする	51
ホーム画面とロック画面の設定をする	51
ディスプレイの設定をする	52
音の設定をする	52
便利な機能と操作の設定をする	52
ストレージの設定をする	52
プライバシーの設定をする	52
位置情報の設定をする	52
セキュリティの設定をする	53
アカウントの設定をする	53
ユーザー補助の設定をする	53
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする	53
システムの設定をする	54
デバイス情報の設定をする	54

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

1 ホーム画面で画面を上をスワイプ→[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®やモバイルネットワーク、データ使用量など、ネットワークやインターネットに関する設定ができます。	P.50
接続済みのデバイス	Bluetooth®など本製品と接続する機器について設定します。	P.51
通知とステータスバー	通知とステータスバーについて設定します。	P.51
アプリ	アプリに関して、情報の確認やアンインストール、権限の設定などができます。	P.51
電池	電池残量や使用量を表示します。また、省電力などの設定ができます。	P.51
ホーム画面とロック画面	壁紙やホーム画面に関する設定を行います。	P.51
ディスプレイ	明るさや画面の自動回転、フォントなど、画面表示に関する設定を行います。	P.52
音	着信音や通知音、操作音などの音の設定や、サイレントモード、バイブレーションなどについて設定します。	P.52
便利な機能と操作	ナビゲーションバーの表示や片手モードなど、便利に操作できる設定をします。	P.52
ストレージ	本体内やmicroSDメモリーカードのストレージ容量の確認、microSDメモリーカードのマウント、フォーマットなどを行います。	P.42 P.43 P.52
プライバシー	機能ごとの権限の設定や、パスワードの表示など、プライバシーに関する設定をします。	P.52
位置情報	位置情報に関する設定ができます。	P.52
セキュリティ	画面ロックや指紋など、セキュリティに関する設定ができます。	P.53
アカウント	アカウントの新規作成／追加やアカウントの同期などについて設定できます。	P.53
ユーザー補助	字幕や拡大操作など、本製品を使用するうえで便利なユーザー補助機能を設定できます。	P.53
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	本製品の利用時間を管理したり、使用制限を設定します。	P.53
Google	各種Google関連サービスの設定ができます。	—
システム	端末情報や言語と入力、日付と時刻、バックアップ、リセットなどに関する確認や設定ができます。	P.54
デバイス情報	デバイス情報に関する確認ができます。	P.54

ネットワークとインターネットの設定をする

1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]

Wi-Fi	▶P.46「無線LAN(Wi-Fi®)機能」
データ使用量	データ通信の使用量を確認したり、使用を制限することができます。 ・データ使用を制限するには「データセーバー」をオンにしてください(▶P.50)。
アクセスポイントとテザリング	▶P.47「テザリング機能」
モバイルネットワーク	▶P.50「モバイルネットワークを設定する」
VPN	▶P.51「VPNを設定する」
機内モード	▶P.51「機内モードを設定する」
プライベートDNS	プライベートDNSを設定します。

■ データ使用を制限する

一部のアプリによるバックグラウンドでの送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。

1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]→[データ使用量]

2 [データセーバー]→[データセーバーを使用]をオンにする

■ モバイルネットワークを設定する

1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]→[モバイルネットワーク]

モバイルデータ	モバイルネットワークの通信をするかどうかを設定します。
ローミング	ローミング時にデータサービスを利用するかどうかを設定します。
優先ネットワークタイプ*	優先的に接続するモバイルネットワークを設定します。
ネットワークを自動的に選択*	モバイルネットワークを自動的に選択するかどうかを設定します。
ネットワーク*	接続するモバイルネットワークを手動で設定します。「ネットワークを自動的に選択」をオフにしたときに設定できません。
アクセスポイント名*	モバイルネットワークに接続するためのアクセスポイントを設定します。

*「詳細設定」をタップすると表示されます。



VPNを設定する

VPN(Virtual Private Network)を利用することで、学校や職場などのネットワークに外部(自宅など)からアクセスできるようになります。


VPNを追加する

- 1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
- 2 [+]
- 3 VPN設定の各項目を設定→[✓]
新しいVPN設定が追加されます。

memo

◎ VPNを編集するには、変更するVPNの「」をタップ→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
◎ VPNを削除するには、削除するVPNの「」をタップ→[削除]と操作します。

VPNに接続する


- 1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。
- 2 接続するVPNをタップ
- 3 必要な認証情報を入力→[接続]
VPNに接続すると、ステータスバーに「」が表示されます。

VPNを切断する

- 1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]→[VPN]
VPN画面が表示されます。
- 2 接続中のVPNをタップ→画面の指示に従って接続を解除

機内モードを設定する

機内モードをオンに設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能)がすべてオフになります。

- 1 設定メニュー画面→[ネットワークとインターネット]→[機内モード]をオンにする
ステータスバーに「」が表示されます。

memo

◎ 機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi[®])/Bluetooth[®]機能をオンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

接続済みのデバイスの設定をする

- 1 設定メニュー画面→[接続済みのデバイス]
- 2

新しいデバイスとペア設定する	▶P.46「Bluetooth [®] 機器を登録する」
以前接続されていたデバイス	ペア設定済みのBluetooth [®] 機器が表示されます。
Bluetooth	▶P.46「Bluetooth [®] 機能」
キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
詳細設定	印刷の設定や、Chromebookについて設定を行います。

memo

◎ 以前に接続した機器や、現在接続している機器の状態によって表示される項目は異なります。

通知とステータスバーの設定をする

- 1 設定メニュー画面→[通知とステータスバー]
- 2

ロック画面に表示	▶P.51「ロック画面表示に関する設定をする」
通知ドットの許可	通知ドットを表示するかどうかを設定します。
電池残量	ステータスバーに表示する電池残量の表示方法を設定します。
ネットワーク速度を表示	ネットワークの通信速度を数値表示するかどうかを設定します。
ステータスバーにアイコンの数を表示	通知アイコンの表示を数字だけにするかどうかを設定します。
通知を最近送信したアプリ	最近通知を送信したアプリの確認と、通知を表示するかどうかを設定します。「過去7日間をすべて表示」をタップすると、最近7日間に通知を送信したアプリを確認できます。
ロック画面上の通知	警告やサイレント通知のロック画面での表示方法を設定します。
通知のスヌーズを許可	通知のスヌーズを許可するかどうかを設定します。
操作や返信の候補	操作や返信の候補を自動的に表示するかどうかを設定します。

ロック画面表示に関する設定をする

- 1 設定メニュー画面→[通知とステータスバー]→[ロック画面に表示]
- 2

ロック画面	ロック画面にすべての通知をするかどうかを設定します。
画面ウェイクアップ	ロック画面に表示される通知があった場合に、画面をオンにするかどうかを設定します。
通知のスタイル	通知があったときに、「壁紙優先」にするか、「通知優先」にするかを設定します。

アプリの設定をする

- 1 設定メニュー画面→[アプリ]
- 2

アプリ情報	インストールされているアプリの確認や設定などができます。 • Google Playなどからインストールしたアプリを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリは削除されます。 • アプリによっては削除できないものもあります。
利用時間	本製品の利用時間やアプリごとの利用時間を確認したり、タイマーを設定してアプリの利用時間を制限したりできます。
デフォルトアプリ	標準で起動するアプリを設定できます。
権限マネージャ	▶P.11「アプリの権限を設定する」
緊急速報メール	緊急速報メールに関する設定ができます。
特別なアプリアクセス	本製品の機能や情報に関するアプリアクセスについて設定できます。

電池の設定をする

- 1 設定メニュー画面→[電池]
- 2

スマートパワー	省電力モードを利用するかどうかを設定します。スマートパワーを設定すると、電池の消費を抑えることができます。
ウルトラ省電力	バックグラウンドで動くアプリの動作を制限するかどうかを設定します。
5G/パワーセーバー	アプリのステータスに基づいて、4G/5Gを自動的に切り替えるかどうかを設定します。
アダプティブバッテリー	使用頻度の低いアプリによる電池の使用を制限するかどうかを設定します。
ダークモード	画面を黒背景にすることで、目への負担を少なくすることができます。また電池の消費を抑えることもできます。
アプリの省電力マネージャー	アプリの電池消費の最適化や、電池消費の自動制御を設定します。
バッテリーの使用量	アプリや機能ごとの電池の使用量を確認します。
電池残量(%)の表示	ステータスバーに表示される電池残量のパーセント表示について設定します。

ホーム画面とロック画面の設定をする

- 1 設定メニュー画面→[ホーム画面とロック画面]
- 2

壁紙	壁紙を設定します。
ホーム画面の設定	ホーム画面の表示に関する設定をします。
歩数計を表示	ロック画面に歩数を表示するかどうかを設定します。

memo

◎ ホーム画面の設定は、ホーム画面のアイコンのない場所をロングタッチ→[設定]と操作しても設定できます(▶P.19)。

ディスプレイの設定をする

1 設定メニュー画面→[ディスプレイ]

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
	明るさを自動調整	周囲に合わせて画面の明るさを調節するかどうかを設定します。
	ディスプレイ最適化	コントラスト、シャープネス、彩度を調整し、画面表示を最適化するかどうかを設定します。
	ダークモード	画面を黒背景にすることで、目への負担を少なくすることができます。また電池の消費を抑えることもできます。
	読書モード	画面の色とフォントを自動的に調整し、文字を読み取りやすくするかどうかを設定します。
	夜間モード	画面に色を付けて、薄明かりの下でも画面を見やすくするかどうかを設定します。
	彩度設定	画面の彩度を設定します。
	フルスクリーン表示設定	アプリごとに、フルスクリーンで表示するかどうかを設定します。
	画面消灯	一定時間操作をしなかったときに、画面が自動消灯するまでの時間を設定します。
	フォントサイズ	画面に表示される文字の大きさを設定します。
	表示サイズ	画面に表示される画像やアイコンなどの大きさを設定します。
	画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦/横画面表示を切り替えるかどうかを設定します。

音の設定をする

1 設定メニュー画面→[音]

2	着信音の音量	電話の着信音の音量を設定します。
	通知の音量	通知音の音量を設定します。
	メディアの音量	音楽や動画などの音量を設定します。
	アラームの音量	アラーム音の音量を設定します。
	通話の音量	通話の音量を設定します。
	音量ボタンのコントロール	音量ボタンを押したときに「着信音の音量」/「メディアの音量」のどちらかを調整するかを設定します。
	ミュート	ミュートに関する設定をします。 ・OFF ミュートの設定をオフにします。 ・バイブレーション 音は鳴らさず、バイブレーションのみ動作します。 ・ミュート 音は鳴らさず、バイブレーションも動作しません。
	着信時のバイブレーション	着信音と同時にバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。
	サイレント/バイブレーションに切り替える	電源ボタンと音量大ボタンを押したときにサイレント/バイブレーションを切り替えるかどうかを設定します。
	サイレントモードでの着信音	サイレントモード設定時、同じ電話番号から着信を受け続けた際に着信音を鳴らすかどうかを設定します。
	サイレントモード	サイレントモードのオン/オフを設定します。 また、サイレントモードをオンにしているときの着信/通知を許可する条件や、自動的にサイレントモードをオン/オフにするスケジュールを設定します。
	着信音	着信音や通知音の種類を設定します。
	DTS音	DTSに関する設定ができます。
	ダイヤルパッドの操作音	ダイヤルキーのタップ時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	画面ロック音	画面ロック時や画面ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	低バッテリー残量の通知	電池残量が低下したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
	充電時の音とバイブレーション	充電開始時に音を鳴らし、バイブレーションを動作させるかどうかを設定します。
	タッチ操作音	画面のタップ時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	スクリーンショットのサウンド	スクリーンショットを撮影したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
	タップ操作時のバイブ	ナビゲーションバーのアイコンやキーボードのキーをタップしたときなどにバイブレーションを動作させるかどうかを設定します。
	起動時の音	電源を入れたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
	着信音フェードイン	着信音の音量をだんだん大きくさせるかどうかを設定します。

便利な機能と操作の設定をする

1 設定メニュー画面→[便利な機能と操作]

2	システムナビゲーション	ナビゲーションバーのスタイルを変更できます。
	片手モード	片手モードのオン/オフを設定できます。
	指紋センサーのスイープ	指紋センサーをスイープしてアプリを起動したり、通知を表示したりすることができます。
	画面を記録	「画面を記録」で撮影する動画の画質や、タッチ操作の記録の有無を設定できます。 「画面を記録」はクイック設定パネルから操作できます。
	自動電源ON/OFFの設定	設定した時間に自動で電源をオン/オフするかどうかを設定します。

ストレージの設定をする

1 設定メニュー画面→[ストレージ]

2	保存先	スクリーンショットした画像やBluetooth®機能で受信したデータなどの保存場所を設定できます。
	デバイスのストレージ	内部ストレージの空き容量を確認できます。
	内部共有ストレージ	内部ストレージの使用容量/合計容量を確認できます。
	XXX製USBドライブ	USBストレージをフォーマットしたり、合計容量/空き容量を確認できます。 ・[]をタップすると、マウントを解除できます。
	XXX製SDカード	microSDメモ리카ードの設定をしたり、合計容量/空き容量を確認したりできます。 ・[]をタップすると、マウントを解除できます。



memo

◎ USBドライブやmicroSDメモ리카ードの取り付けの状態により、表示される項目は異なります。

プライバシーの設定をする

1 設定メニュー画面→[プライバシー]

2	権限マネージャ	▶P.11「アプリの権限を設定する」
	パスワードの表示	パスワードを入力したときに、入力した文字を短い間表示するかどうかを設定します。
	ロック画面	ロック画面に通知を表示するかどうかを設定します。
	Googleの自動入力サービス	Googleアカウントに保存されているパスワード、住所、クレジットカードなど自動入力する情報を管理します。
	Google ロケーション履歴*	本製品を持って訪れた場所を保存するかどうかを設定します。
	アクティビティ管理*	Webページやアプリのアクティビティを保存するかどうかを設定します。
	広告*	広告IDに関する設定をします。
	使用状況と診断情報*	使用状況と診断情報をGoogleに自動的に送信するかどうかを設定します。

* 「詳細設定」をタップすると表示されます。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー画面→[位置情報]

2	位置情報の使用	位置情報のオン/オフを設定します。
	最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報を利用したアプリを表示します。
	アプリの権限	位置情報の利用を許可するかどうかをアプリごとに設定します。
	Wi-Fiのस्क্যানとBluetoothのस्क্যান	Wi-Fi®やBluetooth®がオフの場合でも、Wi-FiネットワークやBluetooth® 機器のस्क্যানを許可するかどうかを設定します。
	Google ロケーション履歴	本製品を持って訪れた場所を保存するかどうかを設定します。
	Google 位置情報の精度	Wi-Fi®やモバイルネットワーク、センサーを使用し、位置情報の精度を改善するかどうかを設定します。
	Google 現在の共有機能	現在の情報を他のユーザーと共有するかどうかを設定します。
	緊急位置情報サービス	緊急通報時、位置情報を送信するかどうかを設定します。

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]

2	緊急時情報	緊急時の連絡先や、医療に関する情報を登録します。緊急呼出電話画面から情報を表示することができます。
	Google Play プロテクト	本製品をスキャンしてセキュリティに問題がないかを確認するかどうかを設定します。
	デバイスを探す	本製品を紛失した場合に本製品の位置を表示するように設定します。
	セキュリティアップデート	システムのアップデートの有無を確認します。
	Google Play システムアップデート	Google Playシステムのアップデートの有無を確認します。
	画面ロック	なし 画面を点灯させたときにロック画面を表示しません。 スワイプ 画面ロックをスワイプで解除します。 パターン 画面ロックをパターン入力して解除するように設定します。 パターンを設定するときは、画面の指示に従って操作してください。 PIN 画面ロックをPIN入力して解除するように設定します。 PINを設定するときは、画面の指示に従って操作してください。 パスワード 画面ロックをパスワード入力して解除するように設定します。 パスワードを設定するときは、画面の指示に従って操作してください。
	ロック画面の表示	ロック画面の通知やロック画面メッセージについて設定します。
	指紋	▶P.18「指紋認証機能を利用する」
	Smart Lock	画面ロックの解除方法をパターン/PIN/パスワードに設定しているとき、特定の条件で自動的に画面ロックを解除するかどうかを設定します。
	デバイス管理アプリ	端末を管理するアプリの確認と、有効/無効の設定をします。
	SIMカードロック	▶P.53「SIMカードロックを設定する」
	暗号化と認証情報	本製品の暗号化や、認証情報について確認・設定します。
	信頼エージェント	信頼できるエージェントを有効にするかどうかを設定します。
	画面の固定	本製品で特定のアプリの画面だけが表示されるように設定します。



◎「画面ロック」の設定によっては、表示される項目が異なります。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.11)をご参照ください。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIMカードロック]→[SIMカードをロック]をオンにする

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[✓]

■PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 設定メニュー画面→[セキュリティ]→[SIMカードロック]→[SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

アカウントの設定をする

1 設定メニュー画面→[アカウント]

2	アカウントを追加	▶P.53「アカウントを追加/削除する」
	自動的にデータを同期	▶P.53「自動で同期する」

アカウントを追加/削除する

■アカウントを追加する

1 設定メニュー画面→[アカウント]→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種類を選択

3 画面の指示に従って操作

■アカウントを削除する

1 設定メニュー画面→[アカウント]→削除するアカウントを選択→[アカウントを削除]

2 [アカウントを削除]

自動で同期する

アプリにデータの自動更新を許可します。

1 設定メニュー画面→[アカウント]

2 「自動的にデータを同期」をオンにする→[OK]

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー画面→[ユーザー補助]

2	音量キーのショートカット	音量ボタンを押してユーザー補助機能を開始する設定ができます。
	ダウンロード済みサービス	ダウンロードしたアプリを使用するかどうかを設定します。
	テキスト読み上げの設定	テキスト読み上げエンジンを設定したり、読み上げの速度の変更やサンプルを再生します。
	フォントサイズ	画面に表示される文字の大きさを設定します。
	表示サイズ	画面に表示される画像やアイコンなどの大きさを設定します。
	拡大	画面を拡大できるように設定します。
	色補正	色覚補正を利用するかどうかを設定します。
	色反転	画面の色を反転させるかどうかを設定します。
	大きなマウスポインタ	マウスポインタを大きくするかどうかを設定します。
	アニメーションの削除	画面上のボタンを押したときや、画面が切り替わる際のアニメーション効果を省略できます。
	停止時間	マウス利用時、ポインタが停止した位置で自動的に画面をクリックする機能について設定します。
	電源ボタンで通話を終了	通話中に電源ボタンを押したとき、通話を終了するかどうかを設定します。
	画面の自動回転	画面を自動回転させるかどうかを設定します。
	長押しする時間	画面をロングタッチする際の認識する時間を設定します。
	操作までの時間(ユーザー補助タイムアウト)	操作の実行を求めるメッセージを表示する時間を設定します。
	バイプレーションと触覚フィードバックの強さ	着信音と通知時/タッチ操作時のバイプレーションのオン/オフを設定します。
	モノラル音声	音声再生をモノラルにするかどうかを設定します。
	オーディオバランス	左右の音量バランスを調整します。
	字幕の設定	字幕表示について設定します。
	高コントラストテキスト	画面に表示される文字を縁取りするなどして見やすくするかどうかを設定します。

Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする

1 設定メニュー画面→[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]

2	今日 XXX*	本製品の使用時間などを確認できます。
	ロック解除数*	画面ロックを解除した回数が表示されます。
	通知数*	通知の数が表示されます。
	ダッシュボード*	アプリごとの使用時間を確認できます。アプリタイマーを設定して、1日の利用時間を制限することもできます。
	おやすみモード*	指定した時間に画面表示をモノクロにして就寝時間をお知らせします。また、サイレントモードを有効にして通知音に妨げられないように設定することもできます。
	フォーカスモード*	集中の妨げになるアプリを一時停止するかどうかを設定します。
	通知を管理*	アプリの通知に関する設定ができます。
	サイレントモード*	サイレントモードのオン/オフを設定します。また、サイレントモードをオンにしているときの着信/通知を許可する条件や、自動的にサイレントモードをオン/オフにするスケジュールを設定します。
	アプリの一覧にアイコンを表示*	Digital Wellbeingのアプリアイコンを表示するかどうかを設定します。
	保護者による使用制限	保護者による使用制限を設定します。

* 展開されていないときは「データを表示」をタップすると表示されます。

システムの設定をする

1 設定メニュー画面→[システム]

2	言語と入力	▶P.54「言語と入力に関する設定をする」	
	日付と時刻	▶P.54「日付と時刻の設定をする」	
	ダウンロードマネージャー	ダウンロードしたファイルを確認できます。	
	バックアップ	アプリのデータや通話履歴などをGoogleサーバーにバックアップできます。	
	リセットオプション	ネットワーク設定のリセット	ネットワークの設定をリセットします。
		アプリの設定をリセット	アプリケーションに関する無効設定や、通知設定、デフォルト設定、各種制限をリセットします。
		すべてのデータを消去(出荷時リセット)	▶P.54「本製品をリセットする」
	複数ユーザー	本製品を使用するユーザーを追加したり、切り替えたりできます。	
	システムアップデート	▶P.68「ソフトウェアを更新する」	
	認証情報	技術基準適合証明に関する情報を確認できます。	

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー画面→[システム]→[言語と入力]

2	言語	▶P.54「言語の表示を切り替える」	
	現在のキーボード	使用するキーボードを変更できます。	
	仮想キーボード	Gboard	▶P.22「Gboardを設定する」
		Google音声入力	Google音声入力を入力する言語や音声検索などについて設定します。
		キーボードを管理	利用するキーボードを管理します。
	物理キーボード	仮想キーボードの表示	物理的なキーボードを利用中でも、仮想キーボードを表示するかどうかを設定します。
		キーボードショートカットヘルパー	使用できるショートカットを表示します。
	スペルチェック	スペルチェッカーの設定をします。	
	自動入力サービス	自動入力サービスを設定します。	
	単語リスト	単語の登録をしておくことで、変換候補に表示されるようになります。	
	ポインタの速度	ポインタの速度を設定します。	
	テキスト読み上げの設定	テキスト読み上げに関する設定をします。	

■ 言語の表示を切り替える

- 1 設定メニュー画面→[システム]→[言語と入力]→[言語]
- 2 [言語を追加]→使用する言語を設定→必要に応じて国・地域を選択
- 3 使用する言語の「≡」を「1」の位置にドラッグ

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー画面→[システム]→[日付と時刻]

2	ネットワークの時刻を使用する	ネットワークを使用して時刻を自動的に補正するかどうかを設定します。
	日付	手動で日付を設定します。
	時刻	手動で時刻を設定します。
	ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する	ネットワークを使用してタイムゾーンを自動的に決定するかどうかを設定します。
	タイムゾーン	手動でタイムゾーンを設定します。
	言語 / 地域のデフォルトを使用する	時刻の表示形式を言語 / 地域の設定に合わせるかどうかを設定します。
	24時間表示	24時間表示にするかどうかを設定します。



memo

- ◎ 日付、時刻、タイムゾーン、24時間表示を手動で設定する場合、あらかじめ「ネットワークの時刻を使用する」「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」「言語 / 地域のデフォルトを使用する」をオフにする必要があります。
- ◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、「タイムゾーン」でタイムゾーンを設定してください。

本製品をリセットする

本製品のリセット(初期化)をすると本体内のデータがすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

リセットの前にデータのバックアップを行うことをおすすめします。

1 設定メニュー画面→[システム]→[リセットオプション]

- 2 [すべてのデータを消去(出荷時リセット)]→[すべてのデータを消去]
- microSDメモリーカードを取り付けているときに、microSDメモリーカード内のデータも消去する場合は、「SDカード内データを消去」にチェックを入れてください。

3 [すべて消去]



memo

- ◎ リセットは電池残量が十分なときや、充電中に行ってください。

デバイス情報の設定をする

1 設定メニュー画面→[デバイス情報]

2	モデル	モデル名とシリアル番号を確認します。
	Androidバージョン	Androidバージョンを確認します。
	ビルド番号	ビルド番号を確認します。
	IMEI	IMEIを確認します。
	CPU	CPUを確認します。
	ROM情報	ROM情報を確認します。
	RAM容量	RAM容量を確認します。
	解像度	ディスプレイの解像度を確認します。
	SIMのステータス	SIMカードの電話番号やネットワークの状態などを確認します。
	端末のステータス	IPアドレスや稼働時間などを確認します。
	SIMカードステータス	SIMカードの状態や、コードを確認します。
	法的情報	サードパーティライセンスやGoogle 利用規約などを確認します。

auネットワーク

auのネットワークサービス	56
auのネットワークサービスについて	56
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	56
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	56
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	57
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	57
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	57
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	60
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	60
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	61
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	61

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス	参照先	
標準サービス	+メッセージ(SMS)	P.29
	着信お知らせサービス	P.56
	着信転送サービス	P.56
	発信番号表示サービス	P.57
	番号通知リクエストサービス	P.57
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX	P.57
	三者通話サービス	P.60
	割込通話サービス	P.60
	迷惑電話撃退サービス	P.61
	通話明細分計サービス	P.61

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)で確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

- ◎ 「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの圏外転送を設定してください(▶P.58)。
※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合も設定を行ってください。
- ◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合にはお知らせしません。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
- ◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.58)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

- ◎ 緊急通報番号(110, 119, 118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
- ◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.57)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- ◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信用事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[連絡先または番号]
・ [📞]をタップして連絡先を選択するか、転送先の電話番号を入力してください。
- 4 「転送時間」で転送するまでの時間を選択→[ONにする] / [更新]
・ 転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。

memo

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[連絡先または番号]
・ [📞]をタップして連絡先を選択するか、転送先の電話番号を入力してください。
- 4 [ONにする] / [更新]
・ 転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。

memo

◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.60)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに電話を転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[連絡先または番号]
・ [📞]をタップして連絡先を選択するか、転送先の電話番号を入力してください。
- 4 [ONにする] / [更新]
・ 転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[連絡先または番号]
・ [📞]をタップして連絡先を選択するか、転送先の電話番号を入力してください。
- 4 [ONにする] / [更新]
・ 転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。

memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.11)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

- ◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気をつけください。
- ◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
- ◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「不明」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面→[☎]→[:]→[設定]

2 [通話設定]→[発信者番号通知]

3 [発信者番号]→[番号を通知]

memo

- ◎ 電話をかけるときに「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- ◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」をオンにしても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- ◎ 「発信者番号通知」をオフにしても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス(▶P.57)、着信転送サービス(▶P.56)、割込通話サービス(▶P.60)、三者通話サービス(▶P.60)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.61)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面→[☎]→[☎]→[1][4][8][1]→[☎]

2 ガイダンスを確認→[☎]

memo

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ SMS
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面→[☎]→[☎]→[1][4][8][0]→[☎]

2 ガイダンスを確認→[☎]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

■ お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波が届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.51)をオンにしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・ 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・ お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.57)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで*1
お預かりできる件数	99件まで*2
1件あたりの録音時間	3分まで

*1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

*2 件数は伝言とボイスメール(▶P.58)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイドンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイドンスの設定/日本語ガイドンスの設定、不在通知(着信停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📧]→[1][4][1]→[📞]
- 2 ガイドンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[着信転送]
 - ・ボイスメールへ転送する設定になります。
- 4 「転送時間」で転送するまでの時間を選択→[ONにする]/[更新]
 - ・転送時間は5秒~55秒の間で設定できます。



memo

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[着信転送]
 - ・ボイスメールへ転送する設定になります。
- 4 [ONにする]/[更新]



memo

◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.60)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切つてあるときなどに、電話を留守番転送サービスに転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[着信転送]
 - ・ボイスメールへ転送する設定になります。
- 4 [ONにする]/[更新]

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[:]→[設定]
- 2 [通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]
- 3 「転送する」の[▼]→[着信転送]
 - ・ボイスメールへ転送する設定になります。
- 4 [ONにする]/[更新]



memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

- 1 お留守番サービスで留守応答
 - ・かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.59「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
 - ・電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。
- 2 伝言を録音
 - 録音時間は、3分以内です。
 - 伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。
- 3 「#」を押して録音を終了
 - 録音終了後、ガイドンスに従って次の操作ができます。
 - 「1」: 録音した伝言を再生して、内容を確認する
 - 「2」: 録音した伝言を「至急扱い」にする
 - 「9」: 録音した伝言を消去して、取り消す
 - 「*」: 録音した伝言を消去して、録音し直す
- 4 電話を切る



memo

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎ お留守番サービスに転送する旨のガイドンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📧]→[1][6][1][2]+相手の方のau電話番号を入力→[📞]
- 2 ガイドンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

- ◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過後でもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

- 1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[伝言メッセージを再生する]**
ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][4][1][7]→[🟢]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
- 2 ガイダンスに従って操作**
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「4」:5秒間巻き戻して聞き直す
「5」:伝言を一時停止(20秒間)*
「6」:5秒間早送りして聞く
「7」:再生済みの伝言をすべて消去
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「*」:前の伝言を聞く
※ [🔴]以外のボタンをタップすると、伝言の再生を再開します。
- 3 [🔴]**

memo

- ◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.58)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認/変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[応答内容変更]**
ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][4][1][4]→[🟢]と操作しても設定できます。
- すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)**
 - 2 [1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[🔴]**
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
- 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)**
 - 2 [1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[🔴]**
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
- 設定/保存されている応答メッセージを確認する場合**
 - 2 [3]→応答メッセージを確認→[🔴]**
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
- 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)**
 - 2 [1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[🔴]**
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

memo

- ◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- ◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないように設定することができます。
- ◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2]→[1]と操作すると標準メッセージに戻ることができます。
- ◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[1]→[4]と操作すると標準メッセージに戻ることができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。

詳しくは、「応答メッセージの録音/確認/変更をする」(▶P.59)をご参照ください。

- 1 ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][6][1][0]→[🟢]**
- 2 ガイダンスを確認→[🔴]**

memo

- ◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

- 1 ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][6][1][1]→[🟢]**
- 2 ガイダンスを確認→[🔴]**

memo

- ◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.11)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

- ◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- ◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイドンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話設定]→[ガイドの言語を変更する]→[英語ガイドンス]

英語ガイドンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][4][1][9][1]→[🟢]と操作しても切り替えることができます。

2 [🔴]



memo

◎ ご契約時は、日本語ガイドンスに設定されています。

日本語ガイドンスへ切り替える

1 ホーム画面→[📞]→[⋮]→[設定]→[通話設定]→[ガイドの言語を変更する]→[日本語ガイドンス]

日本語ガイドンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][4][1][9][0]→[🟢]と操作しても切り替えることができます。

2 [🔴]

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中の電話画面→[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力

通話中に連絡帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [🟢]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさん呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは[🔴]をタップするとAさんとの通話に戻ります。
Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、「切り替え」をタップします。

4 通話中の電話画面→[統合]

3人で通話できます。
[🔴]をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。



memo

- ◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- ◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- ◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- ◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。



memo

- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からのご返却時またはau ICカード(SIMカード)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][4][5][1]→[🟢]



memo

- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.57)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.61)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面→[📞]→[🔴]→[1][4][5][0]→[🟢]

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 着信画面→[🟢]を上をスワイプ

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。



memo

- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- ◎ 割込通話時の着信も通話履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面→[📞]→[📌]→[1][4][4][2]→[📞]

memo

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面→[📞]→[📌]→[1][4][4][9]→[📞]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 ホーム画面→[📞]→[📌]→[1][3][1]+相手先電話番号を入力→[📞]

2 [📞]

memo

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

海外利用	64
au世界サービスについて	64
海外利用に関する設定を行う	64
海外でVoLTEを利用する	64
渡航先で電話をかける	64
渡航先で電話を受ける	64
お問い合わせ方法	64
海外でのご利用上のご注意	65

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額料の定額は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌日よりご利用が可能です。
- ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、au ホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■ 海外でご利用のお客さま

渡航前に必ずご確認ください。

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/



memo

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- 海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- データ通信を行う場合は「ローミング」(▶P.64)を有効に設定します。

データ通信を利用する

- 1 ホーム画面で画面を上へスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]
- 2 「ローミング」をオンにする



memo

- ◎ 5G NETまたは5G NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はau ホームページにてご確認ください。
■ 世界データ定額
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/>
■ 海外ダブル定額
<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/>

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

- 1 ホーム画面で画面を上へスワイプ→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[モバイル ネットワーク]
- 2 [詳細設定]→[優先ネットワークタイプ]→[5G/4G/3G自動]/[4G/3G自動]のどちらかを選択



memo

- ◎ 5G NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
- ◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
- ◎ 海外で通話やデータ通信の品質がよくない場合は、「優先ネットワークタイプ」を「3Gのみ」に切り替えると改善されることがあります。ただし、日本国内では「5G/4G/3G自動」/「4G/3G自動」に切り替えてご利用ください。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/>

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

- 1 ホーム画面→[☎]→[📍]
- 2 「0」をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。
- 3 相手先の国番号を入力
- 4 地域番号(市外局番)を入力
地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリヤなど一部例外もあります)。
- 5 相手の電話番号を入力→[☎]

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかけの場合

+ 81 (国番号) 3 (市外局番) 1234XXXX (相手の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかけの場合

+ 1 (国番号) 123 (市外局番) 456XXXX (相手の電話番号)



memo

- ◎ 電話をかける相手が日本の携帯電話の場合は、相手の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。
- ◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
- ◎ 国番号についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
<http://www.001.kddi.com/countrycode/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。



memo

- ◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかります、着信側には着信通話料がかかります。
- ◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- ◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、現地からの国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間: 24時間

- 1 ホーム画面→[☎]→[📍]
- 2 「0」をロングタッチ
「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。
- 3 「81366706944」を入力→[☎]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>



memo

- ◎ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ/オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

本製品を盗難・紛失したら

- ・海外で本製品もしくはau IC カード(SIMカード)を盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」(▶P.64)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- ・本製品に挿入されているau IC カード(SIMカード)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.53)をご参照ください。

auネットワークサービスに関するご注意

- ・以下のサービスは、au世界サービス「VoLTE」利用中以外にご利用いただけません。
 - ・着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送・圏外転送
 - ・お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - ・三者通話サービス(オプションサービス)*
 - ・割込通話サービス(オプションサービス)
 - ・通話明細分計サービス(オプションサービス)
 - ・発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
 - ・番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
 - ・渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「不明」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
 - ・迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス「VoLTE」利用中以外には受信拒否リストへの登録ができません。
また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。
- ※ au世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グアム、サイパンではご利用いただけません。

付録

付録.....	68
ソフトウェアを更新する.....	68
故障とお考えになる前に.....	68
アフターサービスについて.....	69
auスマートサポート.....	69
位置検索サポート.....	69
SIMロック解除.....	70
周辺機器.....	70
主な仕様.....	70
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	71
米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報.....	71
Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan).....	71
FCC RF Exposure Information.....	71
欧州における電波ばく露の影響に関する情報.....	72
適合宣言書.....	73
輸出管理規制.....	75
知的財産権について.....	75
OpenSSL License.....	75
索引.....	76

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新が必要な場合、本製品では自動的に最新ソフトウェアを取得し、深夜時間帯に更新を実施する場合がございます。
お客様により快適に本製品をご使用いただくため、ご購入後も機能・操作性・セキュリティの向上を目的として、定期的にソフトウェアの更新による品質向上を行っております。

ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客様センター（157/通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店（一部ショップを除く）にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客様センター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面で画面を上からスワイプ→[設定]→[システム]→[システムアップデート]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

memo



◎ 回線の状態によっては、Wi-Fi®に接続していてもモバイルネットワークによるデータ通信に切り替わる場合があります。利用可能なネットワークを自動検索するため、ご契約内容によってはデータ通信料が発生することがありますのでご注意ください。


故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

また以下のauホームページから「トラブル診断」をご確認いただけます。
<https://www.au.com/trouble-check/>



こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.15
	電源ボタンを1秒以上長押ししていますか？	P.16
充電ができない	充電用機器（別売）は正しく接続されていますか？	P.15
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	—
	外部接続端子などが汚れていませんか？	—
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.15
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.15
電話がかかけられない	電源は入っていますか？	P.16
	正しいau ICカード（SIMカード）が挿入されていますか？	P.14
	電話番号が間違っていないですか？（市外局番から入力していますか？）	P.24
	電話番号入力後、「  」をタップしていますか？	P.24
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.51
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.20
	サービスエリア外にいませんか？	P.20
	電源は入っていますか？	P.16
	正しいau ICカード（SIMカード）が挿入されていますか？	P.14
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.51
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	P.56
「  」（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.20
	アンテナ部付近を手でおおっていませんか？	P.14
	au ICカード（SIMカード）以外のカードが挿入されていませんか？	P.14

こんなときは	ご確認ください	参照
Wi-Fi®がつかない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.20
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.46
ディスプレイに着信の表示がされるが着信音が鳴らない	マナーモードが設定されていませんか？	P.21
	「着信音の音量」が低く設定されていませんか？	P.52
ボタン/タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.16
	「画面ロック」が設定されていませんか？	P.53
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.16
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.18
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.16
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.25
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	P.15
	・赤色の通知LEDが緑色に変わるまで、充電してください。	
	内蔵電池が寿命になっていませんか？	P.9
	「  」（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.20
電話をかけたときに受話口（レシーバー）から「ブーツ、ブーツ、ブーツ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.20
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直してください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「画面消灯」が短く設定されていませんか？	P.52
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	P.52
相手の方の音が聞こえない/聞き取りにくい	「通話の音量」が低く設定されていませんか？	P.52
	受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。	P.14
連絡帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、連絡帳の着信設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上連絡帳に登録されていませんか？	P.26
microSDメモリーカードを認識しない	microSDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？	P.42
	microSDメモリーカードのマウントが解除されていませんか？	P.43

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リパースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- ◎ ZTE a1 本体以外の付属品は無償修理保証の対象外です。

補修性能部品について

当社は本製品およびその周辺機器の補修性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
 2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
 3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
 - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
 4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
 5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
 6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
 7. 出張による修理対応はお受けできません。
 8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- ※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

故障紛失サポートについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。
月額利用料およびサービスの詳細については、au ホームページをご確認ください。
<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu/>

memo

- ◎ ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲渡者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

au ICカード(SIMカード)について

au ICカード(SIMカード)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

auスマートサポート

auスマートサポートでできること

24時間365日体制^{*1}の会員さま専用サポート窓口である「auスマートサポートセンター」の電話サポートを利用することができます。

初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅^{*2}に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート(別途有料)」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本^{*3}」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)をご確認ください。

※1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

※2 訪問先はお客様のご契約住所に限りです。

※3 本のプレゼントは一回限りとなります。

位置検索サポート

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索をすることができます。

※ 本製品を遠隔操作で位置検索をする場合は、auスマートサポートまたはau スマートパス、au スマートパスプレミアム、故障紛失サポートのいずれかへの加入が必要です。

memo

- ◎ My auのアプリ上で位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した基地局から推測される位置情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご利用上の注意

- ・ サービスエリア内でも地下街など、電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、ホーム画面で画面を上へスワイプ→[設定]→[デバイス情報]→[SIMのステータス]から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA) (別売)
- TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA) (別売)
- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA) (別売)
- 共通ACアダプタ05(0501PWA) (別売)*

* ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。



memo

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
<https://onlineshop.au.com/>

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ	約6.5インチ、約1,677万色、TFT透過型 2,340×1,080(FHD+)	
質量	約190g	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約76×164×9.2mm(最厚部 10.1mm)	
内蔵メモリ容量 ^{※1}	ROM:約128GB RAM:約6GB	
連続通話時間	国内	約2020分
	海外(GSM)	約960分
連続待受時間	国内	約340時間
	海外(GSM)	約390時間
Wi-Fi [®] テザリング最大接続数	10台	
充電時間(目安)	TypeC共通ACアダプタ01(別売)使用時: 約110分 TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時: 約120分	
カメラ撮像素子	CMOS	
アウトカメラ有効画素数	約4,800万画素/約800万画素/約 200万画素/深度測位カメラ(ToF)	
フロントカメラ有効画素数	約3,200万画素	
無線LAN(Wi-Fi [®])機能	IEEE802.11 a/b/g/n/ac準拠	
Bluetooth [®] 機能	対応バージョン	Bluetooth [®] 標準規格Ver.5.0準拠 ^{※2}
	出力	Bluetooth [®] 標準規格Class 1
	通信距離 ^{※3}	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・ 機能 ^{※4}	GATT(Generic Attribute Profile)
		SPP(Serial Port Profile)
		A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)
		AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)
FTP(File Transfer Profile)		
HSP(Headset Profile)		
HFP(Hands-Free Profile)		
OPP(Object Push Profile)		
PBAP(Phone Book Access Profile)		
HID(Human Interface Device Profile)		
PAN(Personal Area Networking Profile)		
PAN NAP(Personal Area Networking-Network Access Point)		
PAN U(Personal Area Networking-User)		
apt-X		
Bluetooth SSP		
使用周波数帯	2.4GHz帯	

- ※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
- ※2 本製品およびすべてのBluetooth[®]機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth[®]標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
- ※4 Bluetooth[®]機器どうしの使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。



memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種ZTG01の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同様な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定められており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.755W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は1.163W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。チャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○ 一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

○ auのホームページ

<https://www.au.com/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6 W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は1.006W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.431 W/kgです。

身体装着の場合: この携帯電話機ZTG01では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるため使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone ZTG01 meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is 0.755 W/kg*** when tested for use at the ear, and 1.163 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

**** Use at positions other than at the ear

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use." They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

For more information about SAR, see the following websites:

• Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

• Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
(Japanese)

• World Health Organization
<https://www.who.int/emf>

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 1.006 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.431 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset.

The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID SRQ-ZTG01. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

欧州における電波ばく露の影響に関する情報

この携帯電話機ZTGO1は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は1.590W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

(<http://www.who.int/emf>) (英文のみ)

*身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。



SAR TEST REPORT

Report No.: SET2020-06063
Product Name: 5G NR Multi model smart phone
Model Name: ZTG01
Marketing Name: TBD
Brand Name: ZTE
Applicant: ZTE CORPORATION
Address: ZTE Plaza, Keji Road South, Hi-Tech, Industrial Park, Nanshan District, Shenzhen, Guangdong, 518057, P.R.China
Test Date: 2020/05/15~2020/05/19
Issued by: CCIC Southern Testing Co., Ltd.
Lab Location: Electronic Testing Building, No. 43 Shahe Road Xili Street, Nanshan District, Shenzhen, Guangdong 518055, China
Tel: 86 755 26627338 **Fax:** 86 755 26627238
Mail: manager@ccic-set.com **Website:** <http://www.ccic-set.com>

This test report consists of 159 pages in total. It may be duplicated completely for legal use with the approval of the applicant. It should not be reproduced except in full, without the written approval of our laboratory. The client should not use it to claim product endorsement by CCIC-SET. The test results in the report only apply to the tested sample. The CCIC-SET does not assume responsibility for any conclusions and generalizations drawn from the test results with regard to other specimens or samples of the type of the equipment represented by the test item. The test report shall be invalid without all the signatures of testing engineers, reviewer and approver. Any objections must be raised to CCIC-SET within 15 days since the date when the report is received. It will not be taken into consideration beyond this limit.



Test Report

Applicant: ZTE CORPORATION
Applicant Address: ZTE Plaza, Keji Road South, Hi-Tech, Industrial Park, Nanshan District, Shenzhen, Guangdong, 518057, P.R.China

Manufacturer: ZTE CORPORATION
Manufacturer Address: ZTE Plaza, Keji Road South, Hi-Tech, Industrial Park, Nanshan District, Shenzhen, Guangdong, 518057, P.R.China

Test Standards:
EN 50360 2017:- Product Standard to Demonstrate the Compliance of mobile phones with the Basic Restrictions Related to Human Exposure to Electromagnetic Fields (300 MHz–3 GHz).
EN 50566: 2017 - Product standard to demonstrate compliance of radio frequency fields from handheld and body-mounted wireless communication devices used by the general public (30 MHz - 6 GHz)
EN 62209-1:2016: Measurement Procedure for the assessment of specific absorption rate of human exposure to radio frequency fields from hand-held and body-mounted wireless communication device— Part 1: Devices used next to the ear (frequency range of 300MHz to 6GHz).
EN 62209-2: 2010 - Human exposure to radio frequency fields from hand-held and body mounted wireless communication devices Human models, instrumentation, and procedures Part 2: Procedure to determine the specific absorption rate(SAR) for wireless communication devices used in close proximity to the human body (frequency range of 30MHz to 6GHz).
EN 50663: 2017 – Generic standard for assessment of low power electronic and electrical equipment related to human exposure restrictions for electromagnetic fields (10MHz-300GHz)

Test Result: Pass

Tested by: Xinyuan Fang 2020-06-12

Xinyuan Fang, Test Engineer

Reviewed by: Chris You 2020-06-12

Chris You, Senior Engineer

Approved by: Shuangwen Zhang 2020-06-12


Shuangwen Zhang, Manager

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

商標について

- Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Google および Google ロゴ および G ロゴ、Android および Android ロゴ、Google Play および Google Play ロゴ、Gmail および Gmail ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google マップ および Google マップ ロゴ、Google カレンダー および Google カレンダー ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google フォト および Google フォト ロゴ、Google アシスタント および Google アシスタント ロゴ、Google レンズは、Google LLC の商標または登録商標です。
- USB Type-CはUSB Implementers Forumの商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- Wi-Fi®、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™ とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- ZTE、ZTE中興、ZTE Corporationの名称、ロゴは、中国およびその他の国における商標または登録商標です。
- microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.



- DTSの特許については、<https://dts.com/patents> をご参照ください。DTS Licensing Limitedからの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボル、DTSとシンボルの組み合わせ、DTS:X、DTS:Xロゴは米国および/または他の国々におけるDTS, Inc.の商標または登録商標です。©DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。



- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- InstagramおよびInstagramロゴはInstagram, Inc.の商標または登録商標です。
- Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jpおよびAmazon.co.jpロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2017 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SSLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

記号/数字/アルファベット

+メッセージ(SMS)	29
グループ	29
公式アカウントを登録	29
設定	29
送信	29
ブロックリスト	30
利用方法の確認	29
連絡先を登録	29
5G NET	32
5G NET for DATA	32
au ICカード(SIMカード)	14
取り付け	14
取り外し	15
au ID	16
au国際電話サービス	25
auスマートサポート	69
au世界サービス	64
VoLTE	64
お問い合わせ方法	64
注意	65
ローミング	64
auのネットワークサービス	56
英語ガイド	60
遠隔操作サービス	57, 59
応答メッセージ	59
お留守番サービスEX	57
お留守番サービス総合案内	58
圏外転送	56, 58
三者通話サービス	60
蓄積停止	59
着信お知らせサービス	56
着信転送サービス	56
通話明細分計サービス	61
伝言お知らせ	59
伝言再生	59
伝言録音	58
日本語ガイド	60
発信番号表示サービス	57
番号通知リクエストサービス	57
不在通知	59
フル転送	56, 58
ボイスメール	58
ボイスメール再生	59
無応答転送	56, 58
迷惑電話撃退サービス	61
話中転送	56, 58
割込通話サービス	60
auメール	28
迷惑メールフィルター	28
Bluetooth®機能	46
オン	46
機器登録	46
接続解除	46
注意	10
データの送受信	46
ペア設定コード	46
ペアリング	46
Chrome	32
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	53
FCC	71
Files	43
Gboard	22
Gmail	30
受信	30
送信	30
Google Play	37
Googleアカウント	16
microSDメモリーカード	42
取り付け	42
取り外し	43
フォーマット	43
My au	36
PINコード	11
PINロック解除コード	11
Play ストア	37
SAR	71
SIMカードロック	53
SIMロック解除	70
VPN	51
Wi-Fi®	46
オフ	46
オン	46
削除	47
接続	47
設定	47

注意	10
ネットワークを追加	47
Wi-Fi Direct®	47

あ

アイコン	20
アカウント	53
アカウント削除	53
アカウント追加	53
同期	53
アフターサービス	69
アプリ	51
アプリケーション一覧	34
アプリ権限	11
アラーム	38
暗証番号	11
あんしんフィルター for au	36
安全上のご注意	6
位置検索サポート	69
位置情報	52
インターネット	32
ブックマーク	32
履歴	32
音	52

か

海外利用	64
各部の名称と機能	14
カメラ	35
写真撮影	35
動画録画	35
モード切り替え	35
画面ロック	16, 53
カレンダー	37
設定	37
登録	37
メニュー	37
キーボード	21
機内モード	51
基本操作	18
強制再起動	16
クイック設定パネル	20
携帯電話機の比吸収率(SAR)	71
言語と入力	54
故障とお考えになる前に	68
故障紛失サポート	69

さ

再起動	16
最近使用したアプリ	21
サイレントモード	52
システム	54
指紋認証	18
充電	15
周辺機器	70
仕様	70
初期設定	16
スクリーンショット	21
ステータスアイコン	20
ステータスバー	20
ストップウォッチ	38
ストレージ	43, 52
スライド	18
スワイプ	18
セーフモード	16
世界時計	38
セキュリティ	53
接続済みのデバイス	51
設定メニュー	50
ソフトウェア更新	68

た

タイマー	38
タッチパネル	18
タップ	18
ダブルタップ	18
通知LED	20
通知アイコン	20
通知とステータスバー	51
通知パネル	20
通話設定	24
通話履歴	25
ディスプレイ	52
データセーバー	50
データ通信	32
注意	11

テザリング	47
Bluetooth®テザリング	47
USBテザリング	47
Wi-Fi®テザリング	47
デバイス情報	54
電源を入れる	16
電源を切る	16
伝言メモ	25
応答	25
電卓	39
電池	51
電話	24
SMS送信	25
受ける	25
かける	24
着信拒否	25
伝言メモ応答	25
電話番号	25
同梱品	1
時計	38
ドラッグ	18
取り扱い上のご注意	9

な

ナビゲーションバー	18
ネットワークとインターネット	50

は

パソコン接続	43
日付と時刻	54
表記方法	1
ピンチ	18
プライバシー	52
ブラウザ	32
フリック	18
便利な機能と操作	52
ホーム画面	19,51
保存領域	42

ま

マナーモード	21
マルチウィンドウ	18
メール	
+メッセージ(SMS)	29
auメール	28
Gmail	30
メニュー	
表示	21
文字入力	21
Gboard	22
切り取り/コピー	22
単語リスト	22
フリック入力	22
モバイルネットワーク	50

や

ユーザー補助	53
--------	----

ら

ライト	39
連絡帳	26
インポート	26
エクスポート	26
お気に入り登録	26
削除	26
電話をかける	26
登録	26
編集	26
ロック画面	51
ロングタッチ	18

Webサイトやアプリなら、その場で解決。

auホームページ <https://www.au.com/>

よくあるご質問

「よくあるご質問」を集めた総合 Q&A サイト。 [au よくあるご質問](#) で検索

My au (Web版)

- パソコン・スマートフォン・タブレット・4G LTE ケータイから
<https://my.au.com/>
- 3G ケータイから
EZ ボタン▶トップメニューまたは au ポータルトップ▶My au

My au (アプリ版)

- au Market もしくは App Store から「My au」で検索

詳細は
コチラ



困ったときは、お客さまセンターへ。

メッセージ

テキスト形式で簡単・気軽にお問い合わせできる窓口です。「電話で問い合わせる時間がない」というお客さまにも最適。

- お問い合わせ方法
My au アプリ、iMessage、
+ メッセージから



- 特長
 - ✓ 24 時間いつでも気軽にお問い合わせ可能。
 - ✓ チャット感覚でかんたん手軽。
 - ✓ 電話がしにくい場所や時間帯でもご利用可能。

詳細は
コチラ



電話から

au ホームページではお問い合わせ内容に応じた担当者の直通番号をご案内しています。

詳細は
コチラ



お客さまセンター (年中無休 / 通話料無料)	au 携帯電話から	au 携帯電話以外 / 一般電話から	左記番号が繋がらない場合
総合案内 (受付 9:00~20:00)	局番なし 157	0077-7-111	0120-977-033 [沖縄の方は] 0120-977-699
盗難・紛失・故障案内 (24 時間受付)	局番なし 113	0077-7-113	0120-925-314

※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
 ※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます (メンテナンス時を除く)。
 ※ 上記の電話番号が繋がらない場合があります。

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)	au 携帯電話 / au 携帯電話以外 / 一般電話から
盗難・紛失・故障 (受付 9:00~20:00)	0120-925-919

※ 上記の電話番号が繋がらない場合があります。

やめましょう、
歩きスマホ。



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

あぶない!
電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池の破損・変形等により発煙・発火等の原因となり大変危険です。